

高浜町 様 RESAS研修資料

日付 令和4年2月4日

近畿経済産業局 地域経済部
地域経済課 地域開発室

RESAS調査員 木津 敦史

本日の講座について

1. 講義内容のご説明および講師自己紹介
2. 基本概要の説明
【RESAS】 【V-RESAS】 【分析支援機能(RESAS)】
【各種データご説明】
3. 高浜町を題材としたEBPM分析事例
4. まとめ

2. 基本概要のご説明

【RESAS】

と

【V-RESAS】

RESASとは

REASAS（リーサス）とは

地域経済分析システム

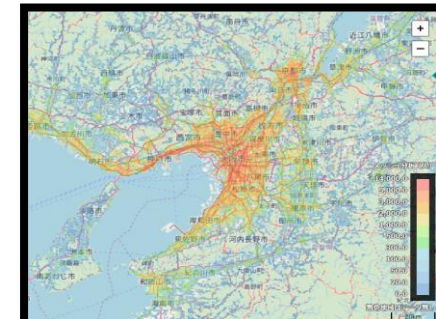
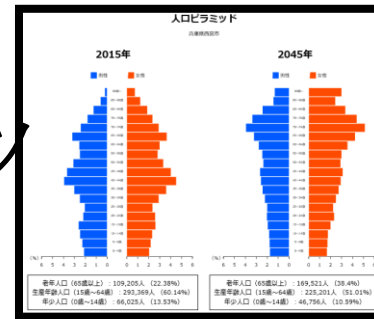
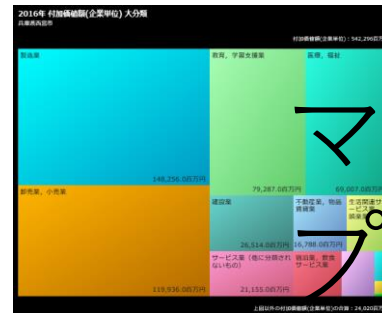
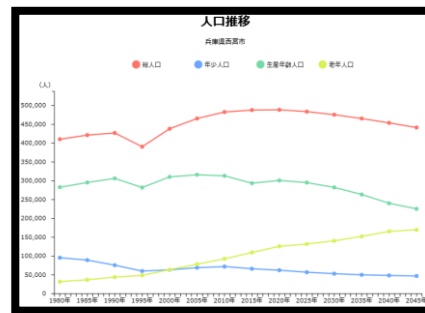
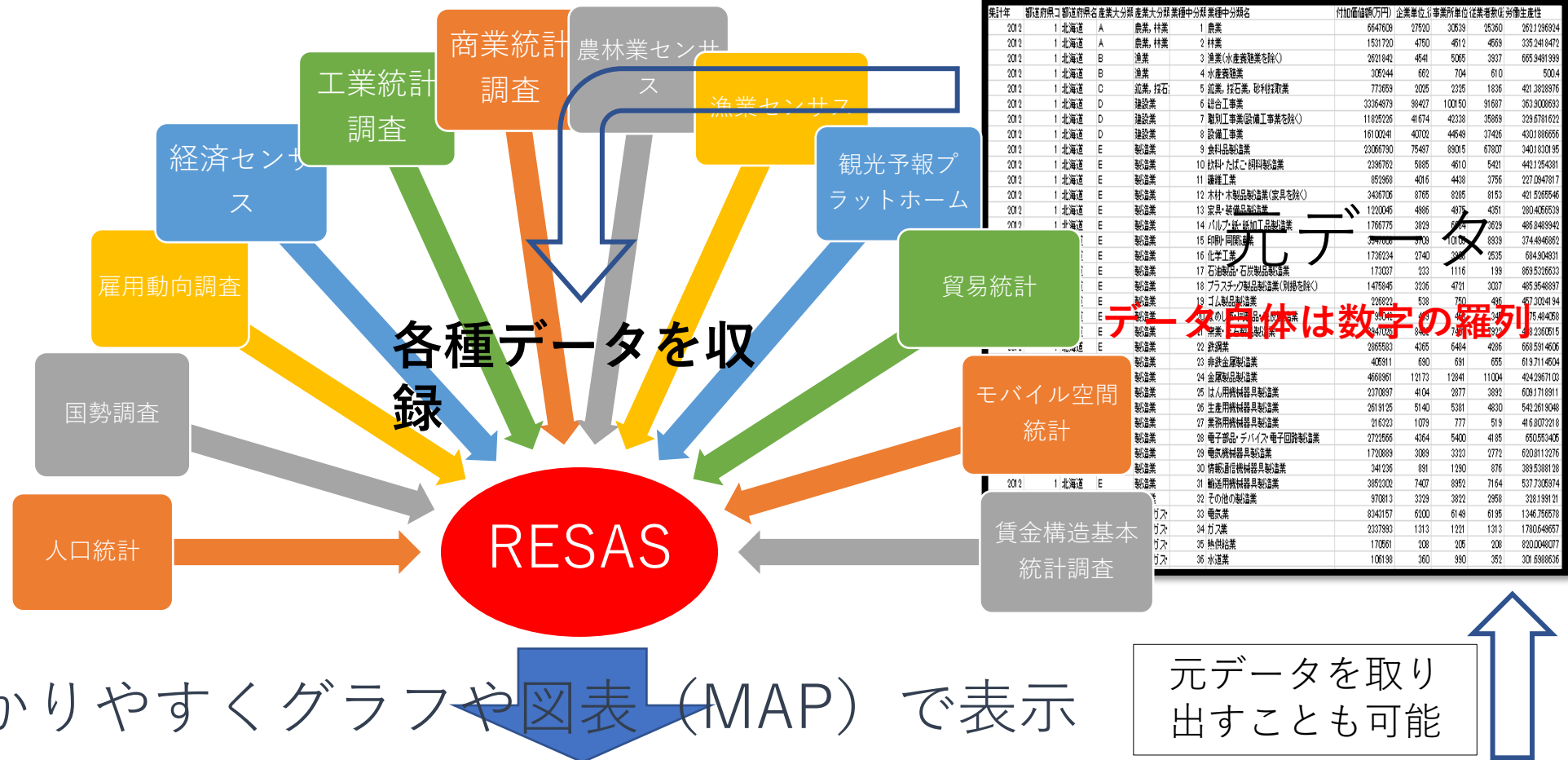
RESAS(Regional Economy Society Analyzing System)

具体的には

地域経済に関する様々なビッグデータを、地図やグラフで分かりやすく「見える化（可視化）」したシステム

- インターネットで誰でも利用可能
- 誰もが直感的に使える、分かりやすい画面操作
- データに基づいて、地域の実情を把握・分析できる

RESASとは



地域経済分析システム（RESAS）の概要

地域経済に関連する様々なビッグデータを「見える化」するシステムを構築し、地方創生版・三本の矢の「情報支援」として、平成27年4月より提供。

地域のデータ分析の「入口」として、初心者でも簡単に使えるシステムを実現。地方公共団体が「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」のKPIを設定する際など、地域政策の現場で活用。

<地域経済分析システム（RESAS）マップ一覧>

①人口マップ



人口推計・推移、人口ピラミッド、転入転出等が地域ごとに比較しながら把握可能

②地域経済循環マップ



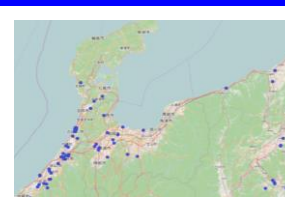
自治体の生産・分配・支出におけるお金の流入・流出が把握可能

③産業構造マップ



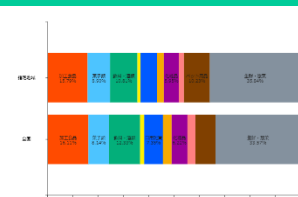
地域の製造業、卸売・小売業、農林水産業の構造が把握可能

④企業活動マップ



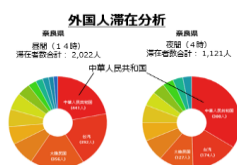
地域の創業比率や黒字赤字企業比率、特許情報等が把握可能

⑤消費マップ



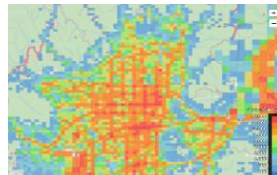
POSデータによる消費の傾向や外国人の消費構造が把握可能

⑥観光マップ



国・地域別外国人の滞在状況等のインバウンド動向や、宿泊者の動向等が把握可能

⑦まちづくりマップ



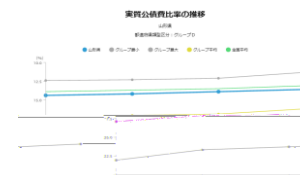
人の流動や事業所立地動向、不動産取引状況など、まちづくり関係の情報が把握可能

⑧医療・福祉マップ



地域の雇用や医療・介護について、需要面や供給面からの把握が可能

⑨地方財政マップ



各自治体の財政状況が把握可能

総メニュー数の推移

<スタート時>	<直近>
25メニュー (平成27年)	81メニュー (令和3年4月)
約358万PV (平成27年度)	約752万PV (令和2年度)

RESASメニュー・全81マップ（随時更新）

地域経済分析システム（RESAS）マップ一覧

1. 人口マップ

- 1-1. 人口構成
- 1-2. 人口増減
- 1-3. 人口の自然増減
- 1-4. 人口の社会増減
- 1-5. 新卒者就職・進学
- 1-6. 将来人口推計
- 1-7. 人口メッシュ
- 1-8. 将来人口メッシュ

2. 地域経済循環マップ

- 2-1. 地域経済循環図
- 2-2. 生産分析
- 2-3. 分配分析
- 2-4. 支出分析

3. 産業構造マップ

<全産業>

- 3-1-1. 全産業の構造
- 3-1-2. 稼ぐ力分析
- 3-1-3. 企業数
- 3-1-4. 事業所数
- 3-1-5. 従業者数（事業所単位）
- 3-1-6. 付加価値額（企業単位）
- 3-1-7. 労働生産性（企業単位）

<製造業>

- 3-2-1. 製造業の構造
- 3-2-2. 製造業の比較
- 3-2-3. 製造品出荷額等

<小売・卸売業>

- 3-3-1. 商業の構造
- 3-3-2. 商業の比較
- 3-3-3. 年間商品販売額

<農業>

- 3-4-1. 農業の構造
- 3-4-2. 農業産出額
- 3-4-3. 農地分析
- 3-4-4. 農業者分析

<林業>

- 3-5-1. 林業総収入
- 3-5-2. 山林分析
- 3-5-3. 林業者分析

<水産業>

- 3-6-1. 海面漁獲物等販売金額
- 3-6-2. 海面漁船・養殖面積等分析
- 3-6-3. 海面漁業者分析
- 3-6-4. 内水面漁獲物等販売金額
- 3-6-5. 内水面漁船・養殖面積等分析
- 3-6-6. 内水面漁業者分析

<雇用>

- 3-7-1. 一人当たり賃金
- 3-7-2. 有効求人倍率
- 3-7-3. 求人・求職者

4. 企業活動マップ

<企業情報>

- 4-1-1. 表彰・補助金採択
- 4-1-2. 創業比率
- 4-1-3. 黒字赤字企業比率
- 4-1-4. 中小・小規模企業財務比較

<海外取引>

- 4-2-1. 海外への企業進出動向
- 4-2-2. 輸出入取引
- 4-2-3. 企業の海外取引額分析

<研究開発>

- 4-3-1. 研究開発費の比較
- 4-3-2. 特許分布図

5. 消費マップ

- 5-1. 消費の傾向（POSデータ）
- 5-2. From-to分析（POSデータ）
- 5-3. 外国人消費の比較（クレジットカード）
- 5-4. 外国人消費の構造（クレジットカード）
- 5-5. 外国人消費の比較（免税取引）
- 5-6. 外国人消費の構造（免税取引）
- 5-7. キャッシュレス加盟店数（ポイント還元事業）
- 5-8. キャッシュレス決済データ（ポイント還元事業）

6. 観光マップ

- 6-1. 目的地分析
- 6-2. From-to分析（宿泊者）
- 6-3. 宿泊施設
- 6-4. 外国人訪問分析
- 6-5. 外国人滞在分析
- 6-6. 外国人メッシュ
- 6-7. 外国人入出国空港分析
- 6-8. 外国人移動相関分析

7. まちづくりマップ

- 7-1. From-to分析（滞在人口）
- 7-2. 滞在人口率
- 7-3. 通勤通学人口
- 7-4. 流動人口メッシュ
- 7-5. 建物利用状況
- 7-6. 事業所立地動向
- 7-7. 不動産取引
- 7-8. 近距離移動時間分析
- 7-9. 国内移動時間分析（準備中）

8. 医療・福祉マップ

- 8-1. 医療需給
- 8-2. 介護需給

9. 地方財政マップ

- 9-1. 自治体財政状況の比較
- 9-2. 一人当たり地方税
- 9-3. 一人当たり市町村民税法人分
- 9-4. 一人当たり固定資産税

凡例

赤字：2021年8月26日データ更新メニュー

青字：2021年2月12日データ再編メニュー

一部準備中のものあり

それではまずは操作画面をご覧ください

- ❶ (メインメニュー) 人口マップ ⇒ 人口構成
- ❷ (表示レベル) 市区町村単位で表示する
「福井県・高浜町 (右上)」
- ❸ M A P の確認 (地域メッシュ表示)
- ❹ 人口推移ボタン

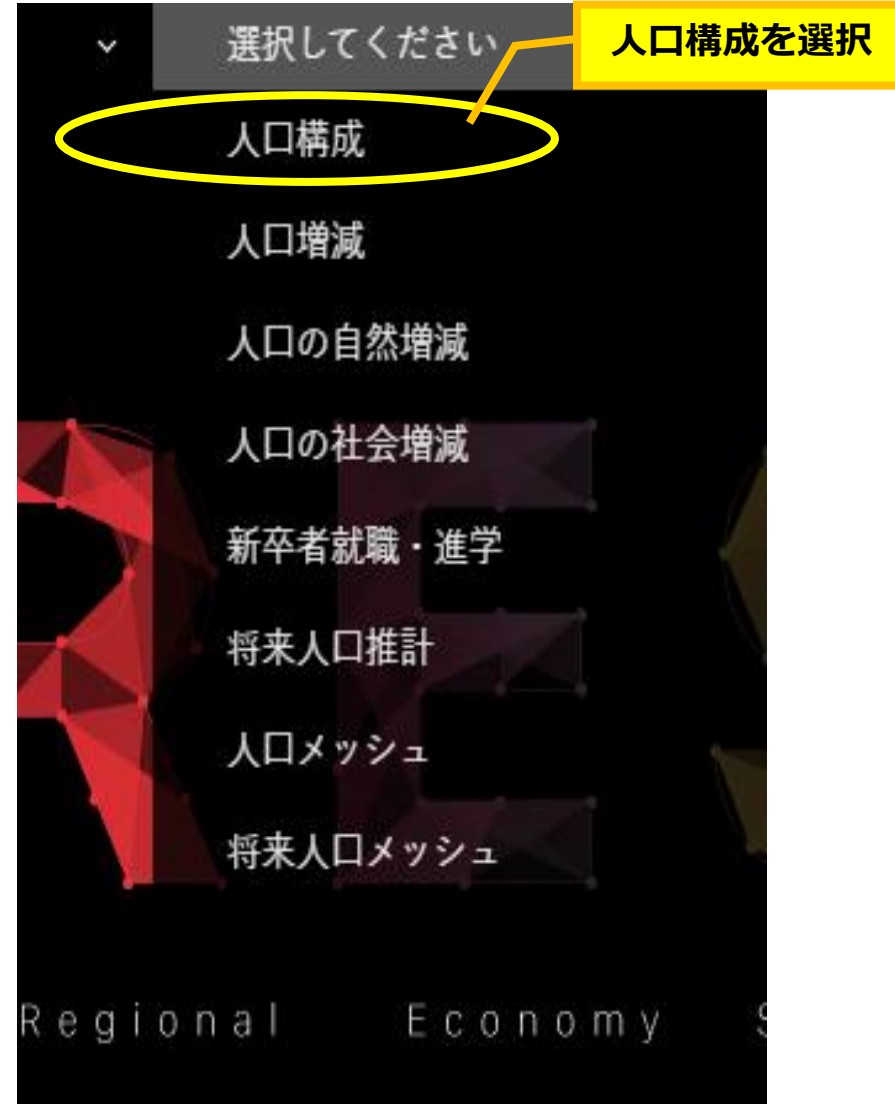
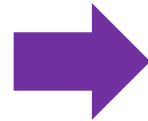
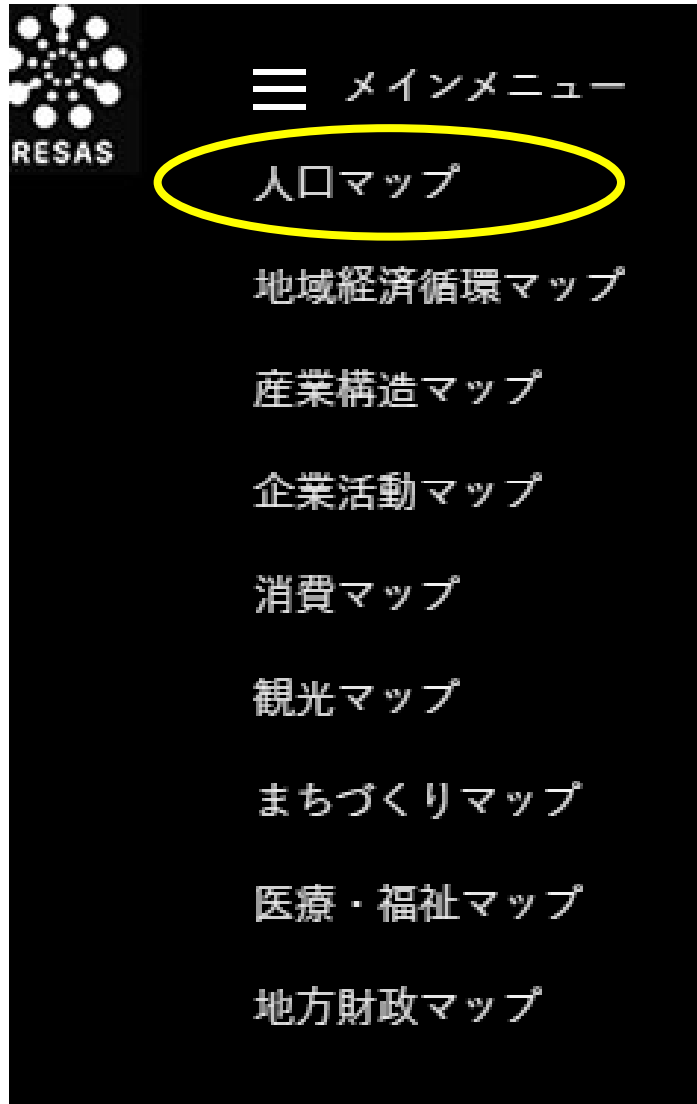
RESASとは

操作手順（メインメニュー）



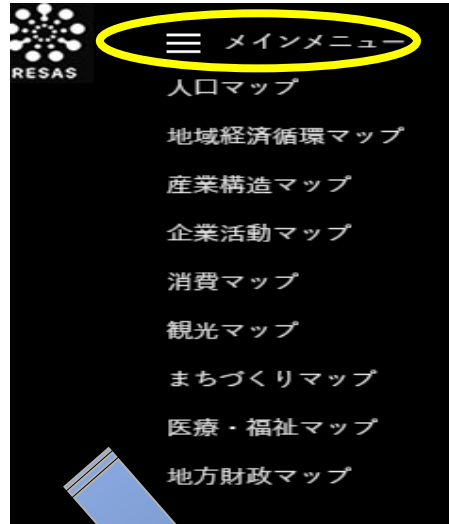
RESASとは

操作手順（メインメニュー → サブメニュー）



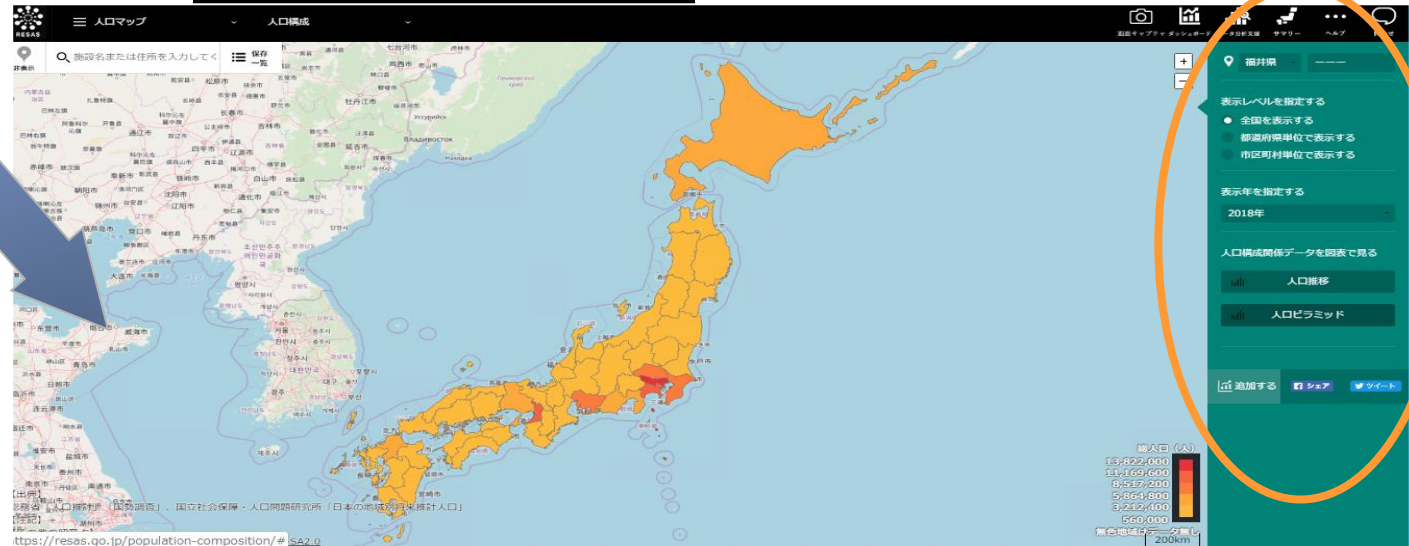
RESASとは

操作手順（カスタマイズ）



ここでカスタマイズ
次ページへ

< マップ画面 >



人口推移マップを出してみる②



手順 1. 『市町村単位で表示する』を選択

手順 2. 『福井県・高浜町』を選択

手順 3. 『人口推移』をクリック

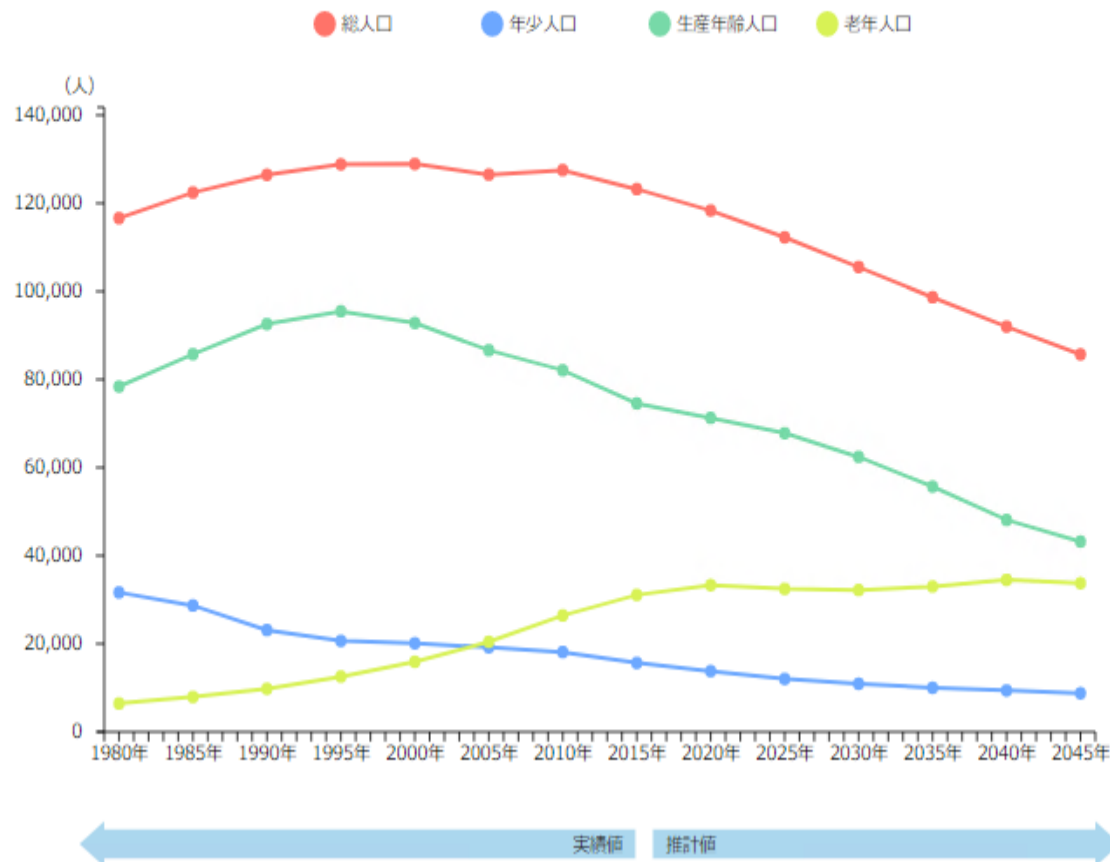
ここで、『人口ピラミッド』をクリックすると一時点における人口ピラミッド（人口構成）を見る事もできます。

RESASとは

人口推移をグラフやピラミッド構造で表示

人口推移

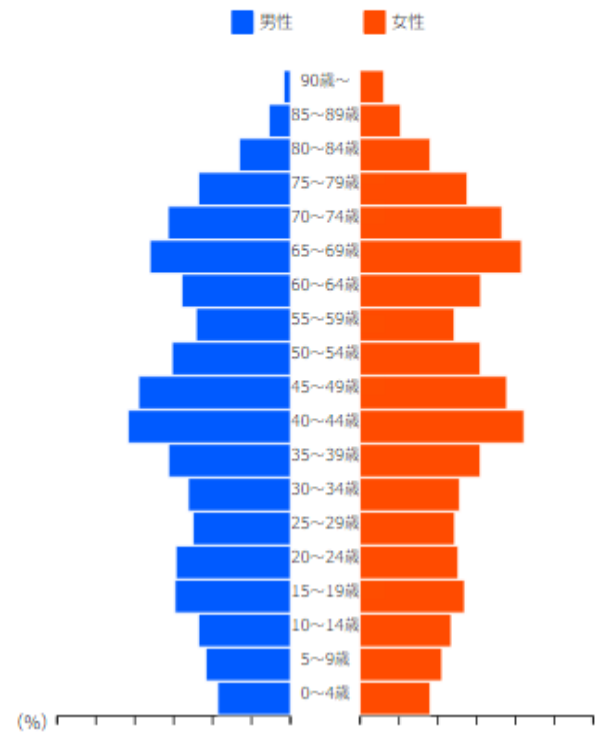
大阪府大東市



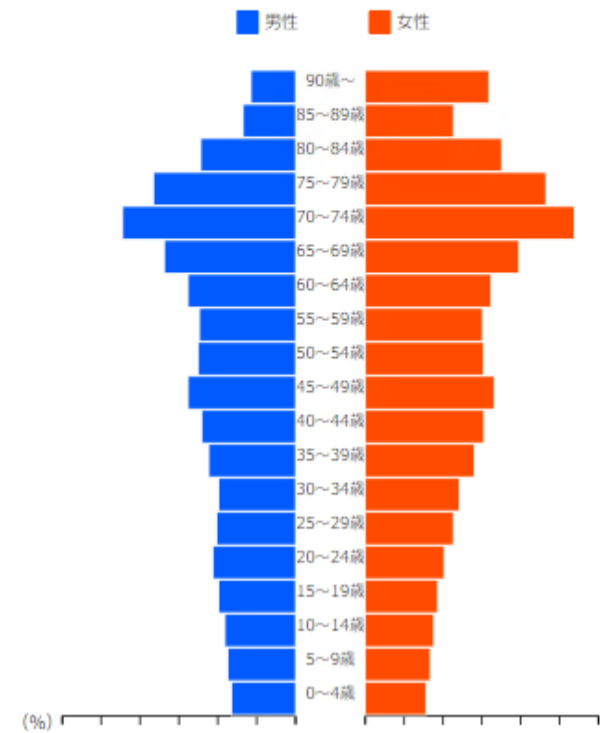
人口ピラミッド

大阪府大東市

2015年



2045年

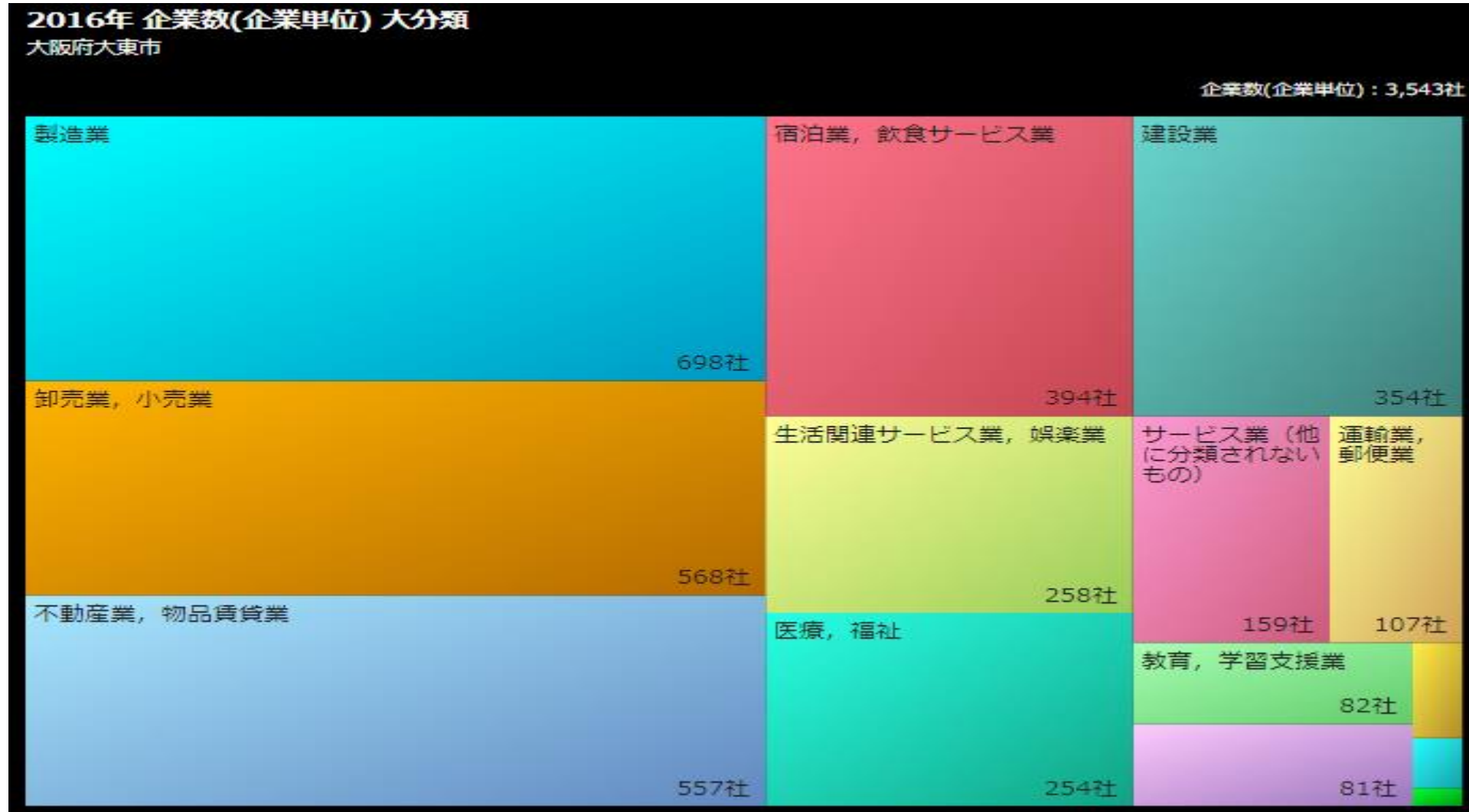


続いて、産業マップを操作してみます

- ① (メインメニュー)
産業構造マップ ⇒ 全産業 ⇒ 全産業の構造
- ② (表示レベル) 市区町村単位で表示する
「福井県・高浜町 (右上)」
- ③ 表示内容・表示年・表示分類を指定

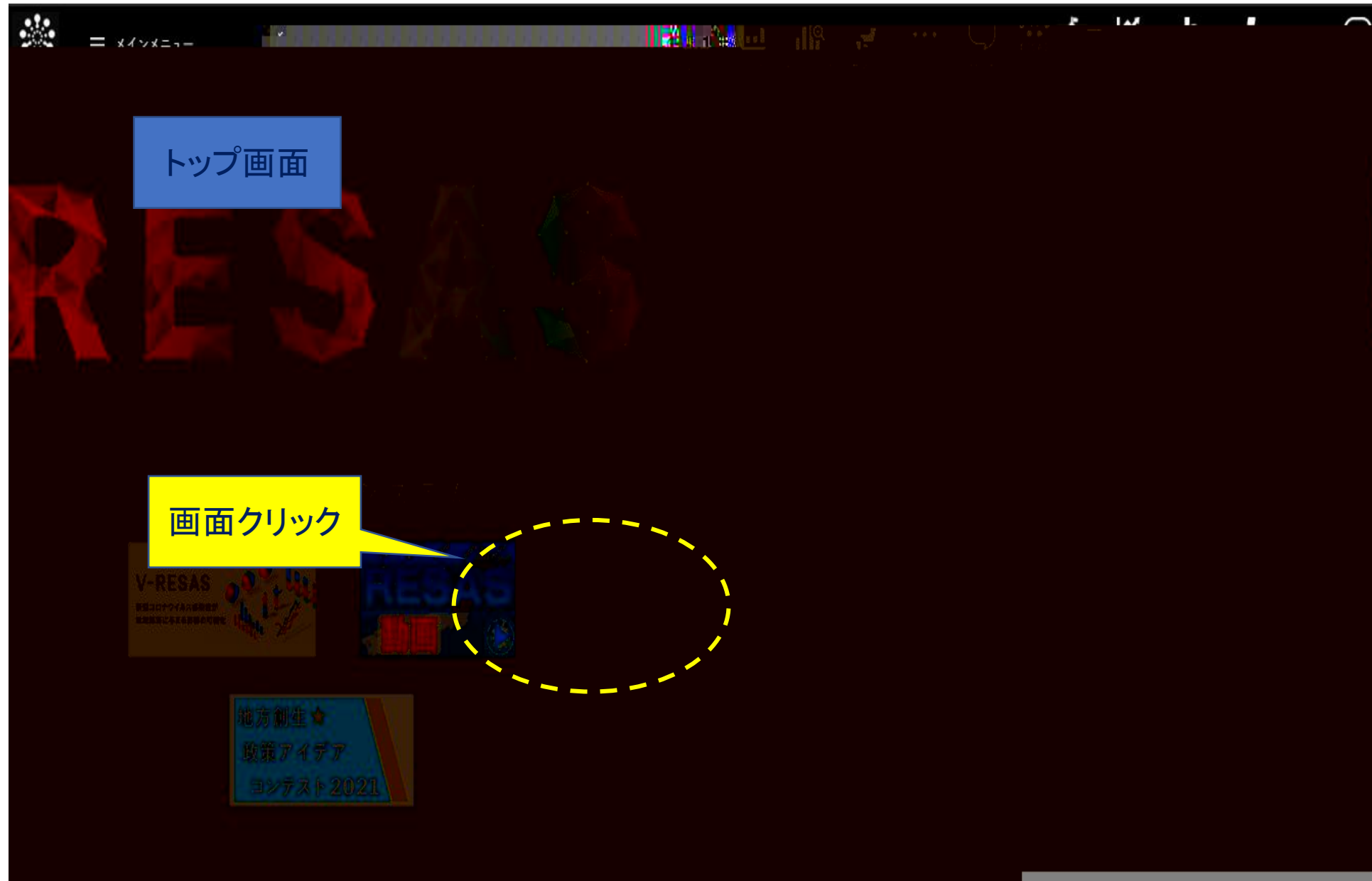
RESASとは

表示単位毎（企業数・従業員数等）に業種別で表示



V-RESASとは

V-RESASについて（操作方法）



【V-RESASのご紹介】

V-RESASは短期的な動向分析に有効です（自治体単位でデータを網羅しているわけではありません）



【V-RESASの基礎データ】

下記赤枠のデータが「週次単位」で把握できます

人流

消費

飲食

宿泊

イベント

雇用

福井県

福井県のサマリー

移動人口の動向 >

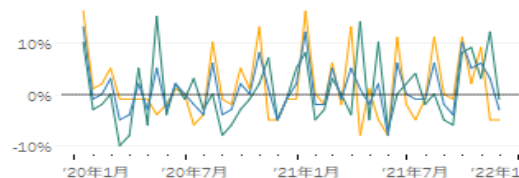
2019年同週比

-21%



決済データから見る消費動向 >

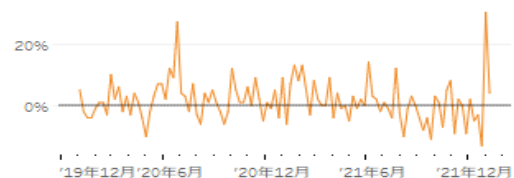
■ すべての業種
■ すべてのサービス業
■ すべての小売業



POSで見る売上高動向 >

2019年同週比

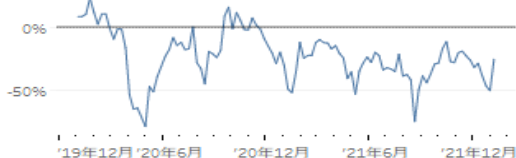
+4%



飲食店情報の閲覧数 >

2019年同週比

-26%



宿泊者数 >

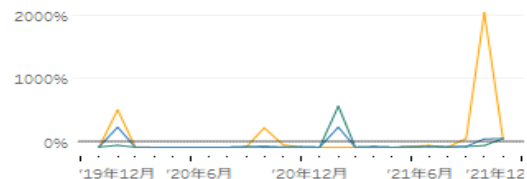
2019年同週比

+10%



イベントチケット販売数 >

■ すべてのジャンル
■ すべてのステージ
■ すべての音楽



【V-RESAS・人流動向データ】

福井県の滞在人口の動向

このグラフは都道府県および代表観測地点の滞在人口の動向について、2019年同週比を表しています。

福井県の推定居住地ごとの2019年同週比の推移

2019年12月30日～2022年1月9日

代表観測地点

福井県全体

時間帯

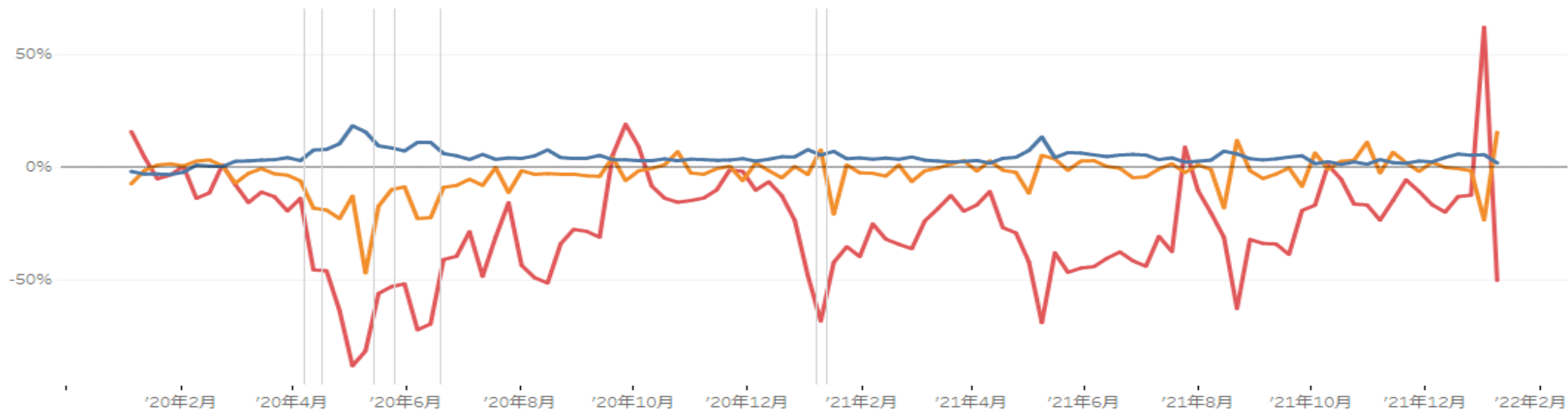
すべての時間帯

滞在人口の推定居住地：

市区町村内

都道府県内

都道府県外



【V-RESAS・飲食動向データ】

福井県の飲食店情報掲載の閲覧数

このグラフは飲食店情報の閲覧数を飲食店のジャンルごとに2019年同週比で表しています。

福井県のジャンルごとの2019年同週比の推移

2019年12月30日～2022年1月9日

エリア

福井県全体

飲食店のジャンル：

すべて

和食

アジア・エスニック

中華

洋食・西洋料理

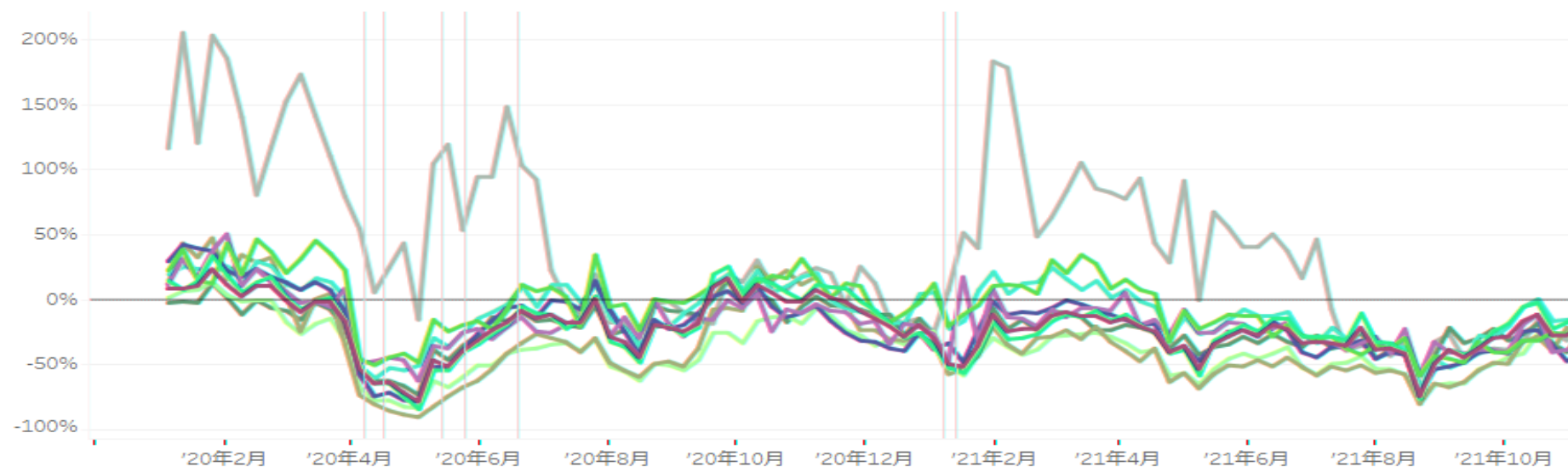
肉料理

鍋料理

居酒屋・バー

カフェ・スイーツ

ファミレス・ファストフード



【V-RESAS・飲食動向データ】

福井県の宿泊者数

このグラフは宿泊者の分類ごとの宿泊者数を宿泊開始日ベースの2019年同月比で表しています。

福井県の宿泊者分類の2019年同月比の推移

2020年1月1日～2021年11月30日

エリア

福井県全体

宿泊者の分類：

■ すべての宿泊者の分類

■ 子ども連れ（子ども＝13歳未満）

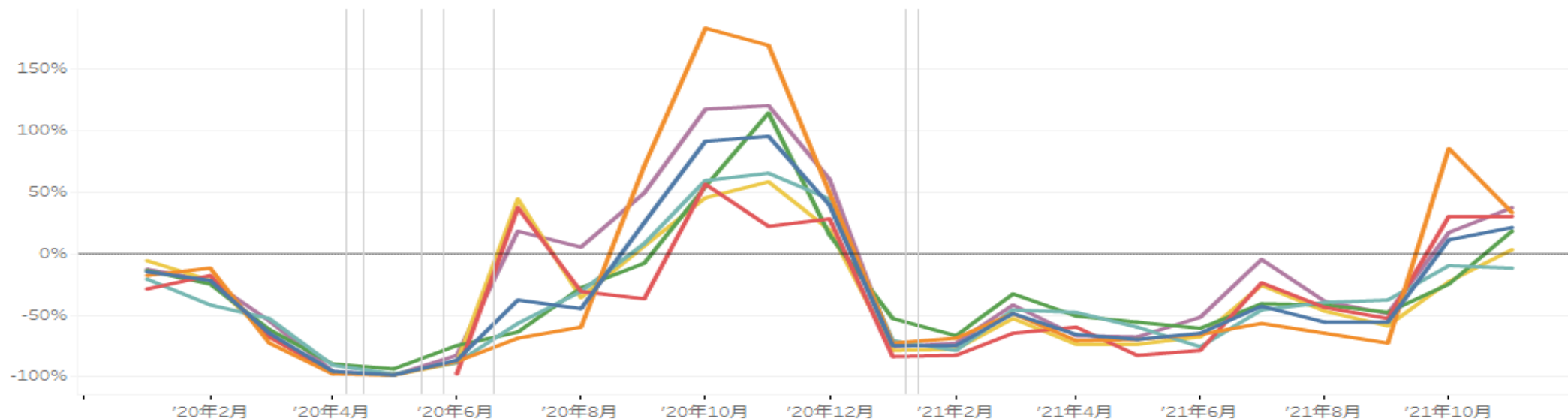
■ 女性グループ

■ 男性グループ

■ 一人

■ 男女グループ(13歳以上子ども含む家族)

■ 夫婦、カップル(男女二人含む)



- **新型コロナウイルス感染症が地域経済に与える影響を可視化**、地方公共団体の政策立案や金融機関、商工団体の中小企業支援をサポート。令和2年6月運用開始。
- 経済の足下の状況を把握すべく、**1週間おきにデータを更新、速報性を重視**。地域経済の健康状態 Vital Signs of Economyを把握可能。
- PCのみならず、タブレット・スマホからでも閲覧可能。 <https://v-resas.go.jp>

データ項目	地域単位	時間単位	データ提供企業
移動人口の動向（人の動きの活発度）	都道府県／地点	週次／日次	株式会社Agoop
決済データから見る消費動向 （クレジットカード利用等での消費支出）	都道府県	半月次	株式会社ジェーシービー 株式会社ナウキャスト
POSで見る売上高動向 （主にスーパーマーケットでの消費支出）	都道府県	週次	株式会社日本経済新聞社 株式会社ナウキャスト
飲食店情報の閲覧数 （グルメサイトの閲覧状況）	都道府県／エリア	週次	Retty株式会社
宿泊者数（ホテル・旅館の宿泊者数の状況）	都道府県／エリア	月次／週次	観光予報プラットフォーム推進協議会
イベントチケット販売数 （イベント開催やチケット予約の状況）	都道府県	月次	ぴあ株式会社
キーワードの検索人数（検索の状況）	都道府県	週次	ヤフー株式会社 （※更新停止）
求人情報数（求人サイトの求人状況）	都道府県	週次	株式会社フロッグ
企業の財務状況の動向 （会計アプリで見た企業の財務状況）	全国	月次	freee株式会社

【RESAS・V-RESASの特徴】

- ・ 地方創生を行うための手助けとなる、さまざまなデータを提供するためのシステム。その最大の**特徴**はデータを図やグラフ、ヒートマップなどを利用して視覚化することにより地域の産業や観光、人口などの状況をわかりやすく示している点

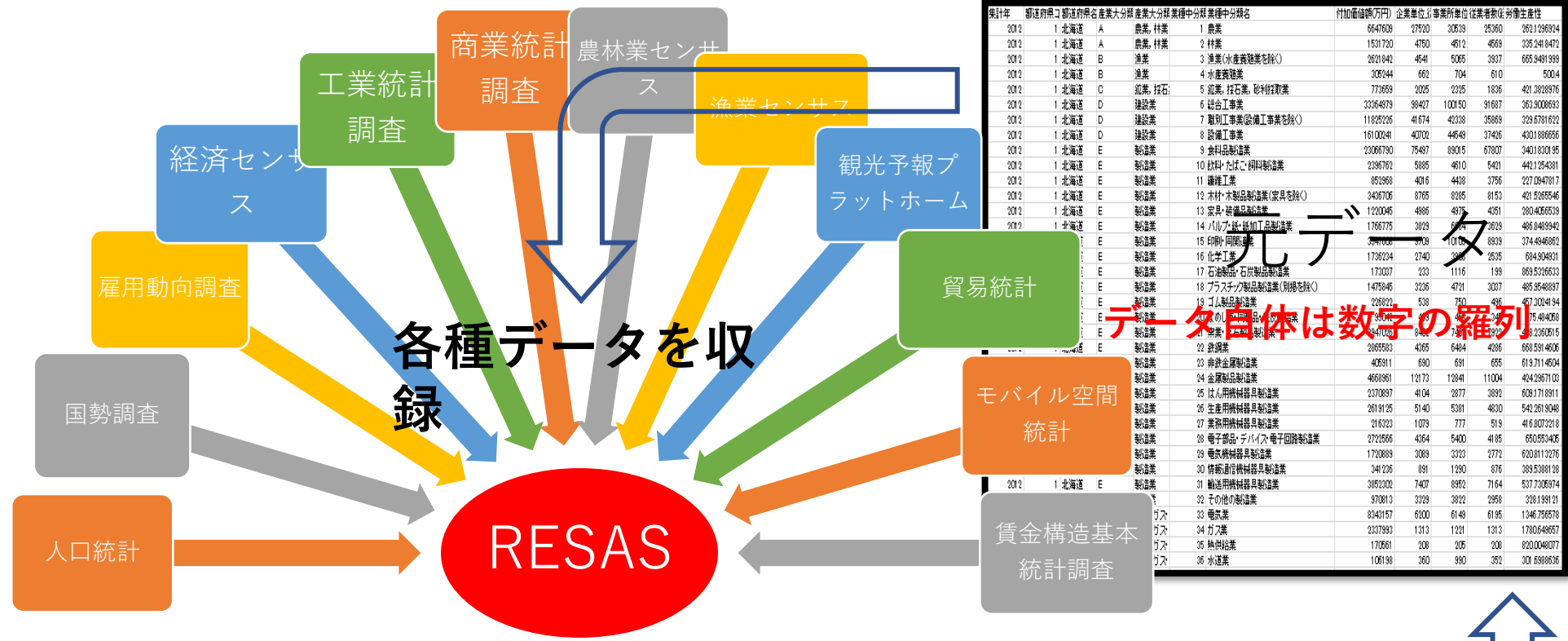
【RESASの特徴】

- ・ 過去の実績データから、将来予測まで対応 ⇒ 中長期視点での分析向き

【V-RESASの特徴】

- ・ 直近の週次単位で実績還元 ⇒ 短期視点での分析向き

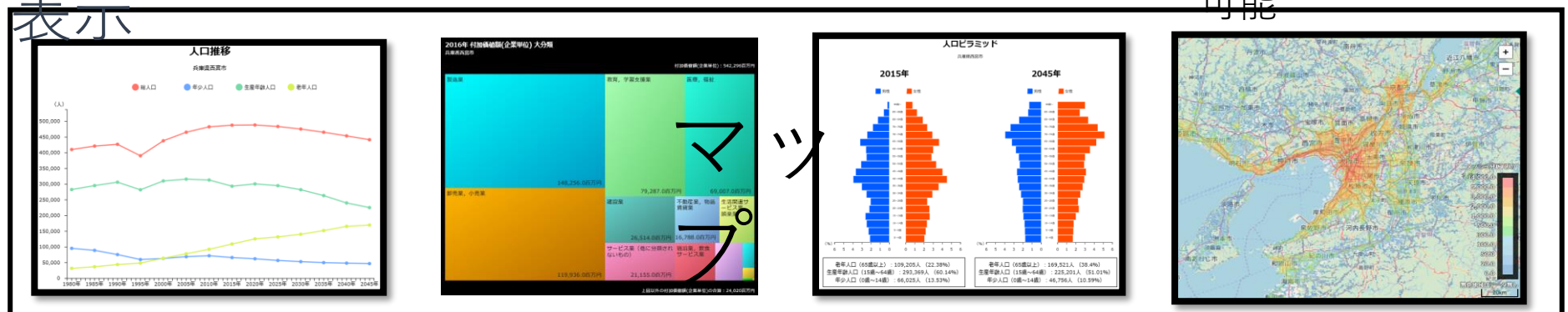
RESASとは



統計年	都道府県	都道府県名	産業大分類	産業大分類名称	産業中分類	産業中分類名称	付加価値額(万円)	企業単位	事業所単位	従業員数	労働生産性
2012	1	北海道	A	農業、林業	1	農業	6647808	27920	30839	25360	2621296934
2012	1	北海道	A	農業、林業	2	林業	1511720	4760	4612	4668	3352418472
2012	1	北海道	B	漁業	3	漁業(水産養殖業を除く)	2621842	4641	5065	3937	6659481999
2012	1	北海道	B	漁業	4	水産養殖業	305944	662	704	610	5004
2012	1	北海道	C	鉱業、採石業	5	鉱業、採石業、砂利採取業	773659	2025	2325	1836	421382876
2012	1	北海道	D	建設業	6	総合工事業	33364979	99427	100150	91687	3539086933
2012	1	北海道	D	建設業	7	建設工事業(設備工事業を除く)	11829226	41674	42338	35869	3286781622
2012	1	北海道	D	建設業	8	設備工事業	16100041	40702	44549	37426	4301886656
2012	1	北海道	E	製造業	9	食品製造業	23067390	75487	89015	67807	3401830195
2012	1	北海道	E	製造業	10	飲料・たばこ・繊維製造業	2396762	5885	4610	5401	4421254381
2012	1	北海道	E	製造業	11	繊維工業	852960	4016	4438	3756	2270847817
2012	1	北海道	E	製造業	12	木材・木製品製造業(家具を除く)	3436706	8765	9285	6153	4215265546
2012	1	北海道	E	製造業	13	家具・装飾品製造業	1220046	4886	4975	4361	2804066539
2012	1	北海道	E	製造業	14	パルプ・紙・印刷工業製造業	1765775	3629	3754	3629	4856489442
2012	1	北海道	E	製造業	15	印刷・同梱工業	3547606	3938	4000	3838	3744846882
2012	1	北海道	E	製造業	16	化学工業	1739234	2740	2800	2635	68494831
2012	1	北海道	E	製造業	17	石油・石炭製品製造業	173007	223	1116	139	8695306633
2012	1	北海道	E	製造業	18	プラスチック製品製造業(別掲を除く)	1475845	3236	4721	3037	4859548887
2012	1	北海道	E	製造業	19	ゴム製品製造業	228222	538	750	456	473024194
2012	1	北海道	E	製造業	20	皮革・皮革製品製造業	96000	400	400	340	754840268
2012	1	北海道	E	製造業	21	金属製品製造業	347008	8400	7300	3920	33920815
2012	1	北海道	E	製造業	22	鉄鋼業	2855583	4265	6484	4265	6685914606
2012	1	北海道	E	製造業	23	非鉄金属製造業	405811	690	691	655	619714504
2012	1	北海道	E	製造業	24	金属製品製造業	4668961	12173	12841	11004	4242967103
2012	1	北海道	E	製造業	25	はん用機械器具製造業	2370897	4104	2877	3892	6081718911
2012	1	北海道	E	製造業	26	生産用機械器具製造業	2619125	5140	5381	4830	5421619048
2012	1	北海道	E	製造業	27	業務用機械器具製造業	216223	1079	777	519	4168072918
2012	1	北海道	E	製造業	28	電子部品・デバイス・電子回路製造業	2722566	4264	5400	4185	650534005
2012	1	北海道	E	製造業	29	電気機械器具製造業	1700889	3089	3223	2772	6208112076
2012	1	北海道	E	製造業	30	情報通信機械器具製造業	341236	891	1290	876	3895388128
2012	1	北海道	E	製造業	31	輸送用機械器具製造業	3852302	7407	8892	7164	5377308374
2012	1	北海道	E	製造業	32	その他の製造業	570813	3229	3822	2868	32811911
2012	1	北海道	E	製造業	33	電気業	8343157	6000	6148	6195	1346756578
2012	1	北海道	E	製造業	34	ガス業	2337983	1313	1291	1313	1780648657
2012	1	北海道	E	製造業	35	熱供給業	170691	208	205	208	8200048077
2012	1	北海道	E	製造業	36	水道業	100198	360	990	382	3083986536

わかりやすくグラフや図表 (MAP) で表示

元データを取り出すことも可能



1. 人口マップ

- 1-1. 人口構成
- 1-2. 人口増減
- 1-3. 人口の自然増減
- 1-4. 人口の社会増減
- 1-5. 新卒者就職・進学
- 1-6. 将来人口推計
- 1-7. 人口メッシュ
- 1-8. 将来人口メッシュ

2. 地域経済循環マップ

- 2-1. 地域経済循環図
- 2-2. 生産分析
- 2-3. 分配分析
- 2-4. 支出分析
- 2-5. 労働生産性等の動向分析

3. 産業構造マップ

<全産業>

- 3-1-1. 全産業の構造（一部※）
- 3-1-2. 稼働力分析
- 3-1-3. 企業数
- 3-1-4. 事業所数
- 3-1-5. 従業者数（事業所単位）
- 3-1-6. 付加価値額（企業単位）
- 3-1-7. 労働生産性（企業単位）

<製造業>

- 3-2-1. 製造業の構造
- 3-2-2. 製造業の比較
- 3-2-3. 製造品出荷額等

<小売・卸売業（消費）>

- 3-3-1. 商業の構造
- 3-3-2. 商業の比較
- 3-3-3. 年間商品販売額
- 3-3-4. 消費の傾向（POSデータ）
- 3-3-5. From-to分析（POSデータ）

<農業>

- 3-4-1. 農業の構造
- 3-4-2. 農業産出額
- 3-4-3. 農地分析
- 3-4-4. 農業者分析

<林業>

- 3-5-1. 林業総収入
- 3-5-2. 山林分析
- 3-5-3. 林業者分析

<水産業>

- 3-6-1. 海面漁獲物等販売金額
- 3-6-2. 海面漁船・養殖面積等分析
- 3-6-3. 海面漁業者分析
- 3-6-4. 内水面漁獲物等販売金額
- 3-6-5. 内水面漁船・養殖面積等分析
- 3-6-6. 内水面漁業者分析

4. 企業活動マップ

<企業情報>

- 4-1-1. 産業間取引（※）
- 4-1-2. 企業間取引（※）
- 4-1-3. 表彰・補助金採択
- 4-1-4. 創業比率
- 4-1-5. 経営者平均年齢（※）
- 4-1-6. 黒字赤字企業比率
- 4-1-7. 中小・小規模企業財務比較

<海外取引>

- 4-2-1. 海外への企業進出動向
- 4-2-2. 輸出入取引
- 4-2-3. 企業の海外取引額分析

<研究開発>

- 4-3-1. 研究開発費の比較
- 4-3-2. 特許分布図

凡例

赤字：2019年12月24日データ更新メニュー
（※）：限定メニュー

5. 観光マップ

<国内>

- 5-1-1. 目的地分析
- 5-1-2. From-to分析（宿泊者）
- 5-1-3. 宿泊施設

<外国人>

- 5-2-1. 外国人訪問分析
- 5-2-2. 外国人滞在分析
- 5-2-3. 外国人メッシュ
- 5-2-4. 外国人入出国空港分析
- 5-2-5. 外国人移動相関分析
- 5-2-6. 外国人消費の比較（クレジットカード）
- 5-2-7. 外国人消費の構造（クレジットカード）
- 5-2-8. 外国人消費の比較（免税取引）
- 5-2-9. 外国人消費の構造（免税取引）

6. まちづくりマップ

- 6-1. From-to分析（滞在人口）
- 6-2. 滞在人口率
- 6-3. 通勤通学人口
- 6-4. 流動人口メッシュ
- 6-5. 事業所立地動向
- 6-6. 施設周辺人口
- 6-7. 不動産取引

7. 雇用／医療・福祉マップ

- 7-1. 一人当たり賃金
- 7-2. 有効求人倍率
- 7-3. 求人・求職者
- 7-4. 医療需給
- 7-5. 介護需給

8. 地方財政マップ

- 8-1. 自治体財政状況の比較
- 8-2. 一人当たり地方税
- 8-3. 一人当たり市町村民税法人分
- 8-4. 一人当たり固定資産税

しかしながら、RESASには数多くのデータが収録されているため、

どのデータを見ればよいのか・・・

何から調べればよいのか・・・

全てのデータを網羅するには時間がかかります。

目的が明確な際には必要データを取得して頂ければよいですが、

まず自治体の全体像を把握したいという時には、

次の機能を活用をおすすめします。

RESAS 「分析支援機能」の ご紹介

【分析支援機能の特徴】

① 主要データが一覧でまとめられている

- ・RESASメインメニューでは詳細分析が可能であるが、
読込が遅いため、データ解析に時間を要する。
分析支援機能は主要データが一覧でまとめられているため、
大枠の把握が容易にできる。

② 主要データを他の自治体と簡単に比較できる

- ・他自治体との比較がワンクリックで同画面上に
表示できるため、比較検討がしやすい。
同規模自治体の取組内容や成功事例の模索のきっかけ。

【分析支援機能のご紹介】

RESAS内の「主要データ」を抜粋。近隣自治体等との比較が容易に可能。



RESAS

メインメニュー

授業モデル ダッシュボード データ分析支援 サマリー ヘルプ 問合せ

Regional Economy Society Analyzing System

地域経済分析システム

V-RESAS
新型コロナウイルス感染症が
地域経済に与える影響の可視化

RESAS
動画

地方創生★
政策アイデア
コンテスト2021

データ分析支援機能とは

RESASに搭載されている数多くのデータ・分析グラフの中から、第二次産業・第三次産業等、分析テーマに沿った代表的な分析画面を抽出して順に表示します。

各分析画面には、分析の視点となる「グラフの見方」、全国傾向と比較した特徴等を示す「示唆」、分析結果から施策を検討するヒントとしての「施策検討例」等、分析を支援するための様々なコメントが表示されます。

また、一部の分析画面では、人口構造・産業構造等の視点から分析対象地域と似通った地域が一覧で表示され、分析グラフに自由に追加できる「類似自治体選択機能」があります。

(※本機能は試用版です)

データ分析支援機能マニュアル

[基本操作 \(PDF\)](#)

[人口対策 \(PDF\)](#)

[第一次産業 \(PDF\)](#)

[第二次・第三次産業 \(PDF\)](#)

[日本人観光客 \(PDF\)](#)

[外国人観光客 \(PDF\)](#)

[全てのマニュアル \(ZIP\)](#)

分析対象自治体を選択

都道府県のみを選択するか、都道府県と市区町村の両方を選択してください。

都道府県 - 選択しない -

次へ

福井県・高浜町を選択

Analysis Support データ分析支援機能

分析テーマを選択

☒ 人口対策

☐ 第一次産業

☐ 第二次産業・第三次産業

☐ 日本人観光客

☐ 外国人観光客

(※他のテーマについては検討中)

戻る

次へ

【分析支援機能のご紹介】

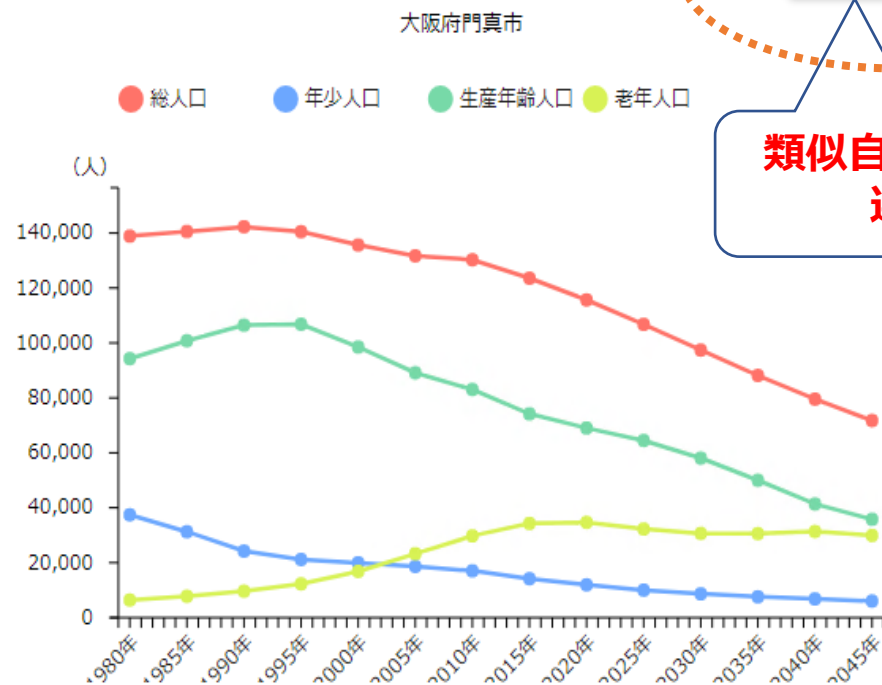
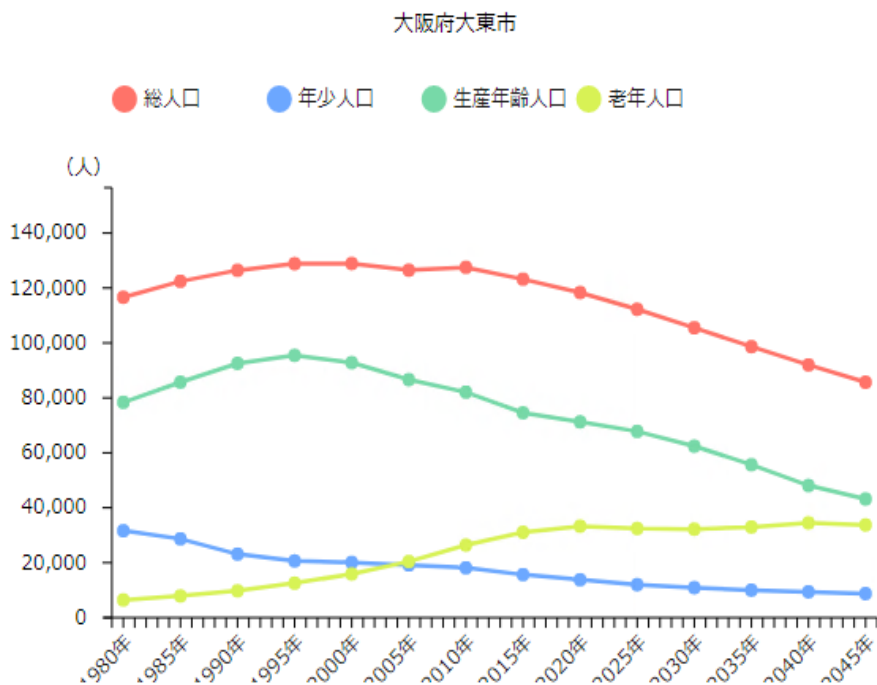
主要なデータが一覧で表記・比較自治体を容易に検索可能

分析テーマを別に選択可能

データ分析支援TOP 分析テーマ選択 人口推移

人口推移 > 人口ピラミッド > 自然増減・社会増減の推移（折れ線） > 自然増減・社会増減の推移（移動平均） > 人口の自然増減-合計特殊出生率と人口推移 > 人口の社会増減-人口移動 > From-To（定住人口） > 人口推移のまとめ

【目的】 総人口・年代別人口がどのように推移するか把握しよう。



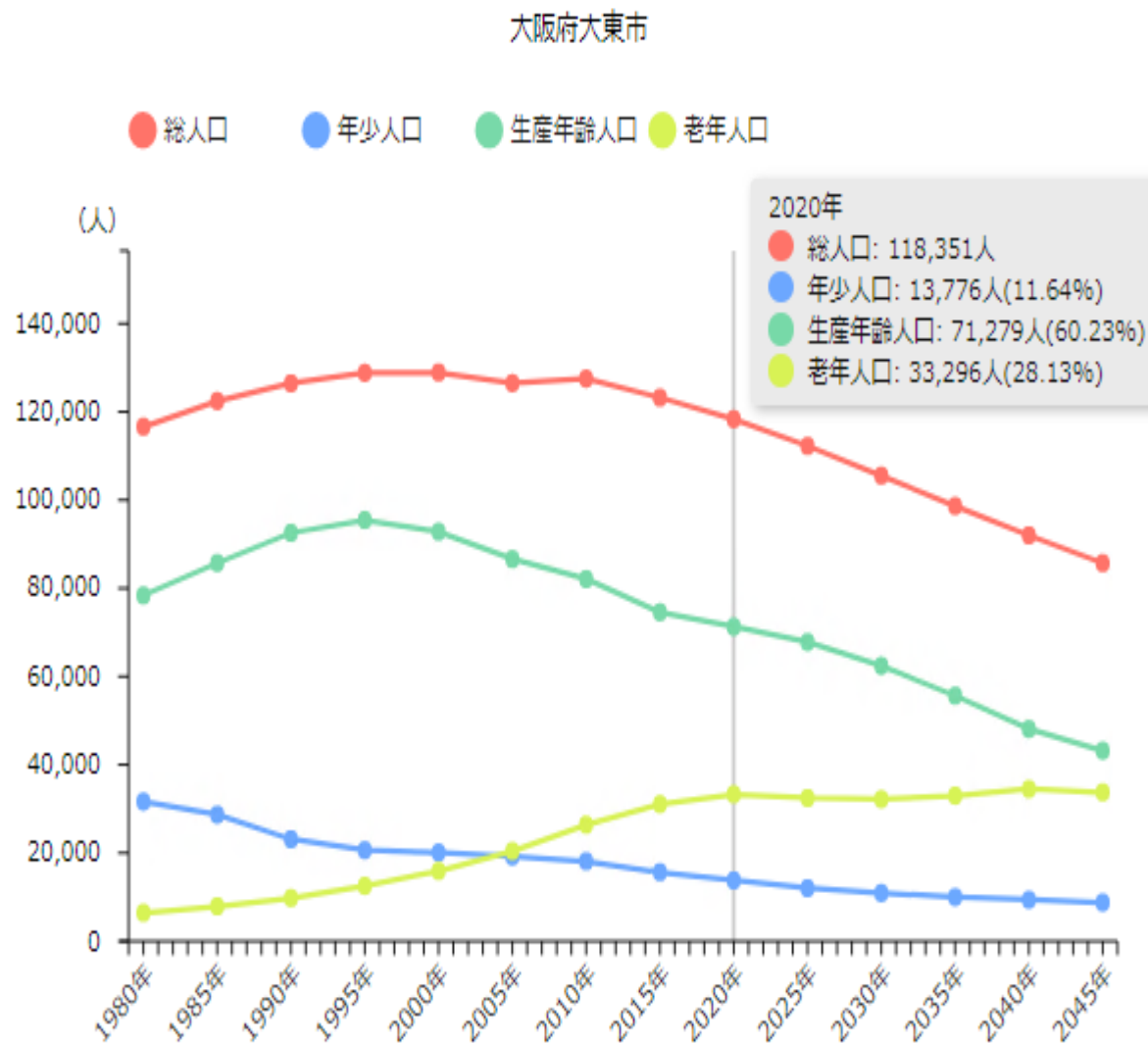
類似自治体を容易に
選択可能

示唆

2015年の年少人口割合、生産年齢人口割合は大阪府門真市と比べて高い。
2015年の老年人口割合は大阪府門真市と比べて低い。
総人口は2015年と比較して2020年に96.1%、2030年に85.6%、2045年に69.5%になる。

【分析支援機能のご紹介】

分析支援機能を利用すれば簡単に同規模の自治体を検索できます



○ 類似自治体検索

① 検索対象とする自治体の人口規模を選択してください。

10万～15万人

② 検索したい類似自治体の種類を選択してください。

☐ 年齢階層別人口割合が類似した自治体
☒ 全産業の従業者数割合（事業所単位）が類似した自治体

類似自治体の選択は1地域のみ

全国					
順位	選択	都道府県	市区町村	人口	社会増減率 (5年前からの増減)
1	☒	静岡県	焼津市	139,462	-0.0039 (-0.0049)
2	☒	三重県	伊勢市	127,817	-0.0047 (-0.0042)
3	☒	静岡県	三島市	110,046	-0.0003 (0.0001)
4	☒	東京都	青梅市	137,381	0.0031 (-0.0005)
5	☒	岐阜県	多治見市	110,441	-0.0034 (0)
6	☒	栃木県	足利市	149,452	0.0007 (0.0034)
7	☒	山口県	周南市	144,842	-0.0026 (-0.001)
8	☒	山口県	防府市	115,942	-0.0004 (-0.0006)
9	☒	茨城県	土浦市	140,804	-0.0016 (0)
10	☒	愛知県	瀬戸市	129,046	-0.0005 (0.0014)

比較したい自治体規模を選択

**それでは「分析支援機能」を用いて、
データ分析に入る前に・・・
なぜデータ分析が必要なのか
考えてみましょう**

RESASの利用場面 (EBPMの考え方)

EBPMとは・・・

**Evidence
Based
Policy
Making**

重要です！

(証拠に基づく政策立案

EBPM（エビデンス・ベースド・ポリシー・メイキング。証拠に基づく政策立案）とは、政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠（エビデンス）に基づくものとすることです。

政策効果の測定に重要な関連を持つ情報や統計等のデータを活用したEBPMの推進は、政策の有効性を高め、政策に対する信頼確保に資するものです。

【分析支援機能のご紹介】

本日は「データ分析支援機能」を用いて、
「高浜町の主要データの確認」や
「他自治体との比較」により、
皆様と一緒に
「高浜町のEBPM分析を考えてみる」
講義にしたいと思います。

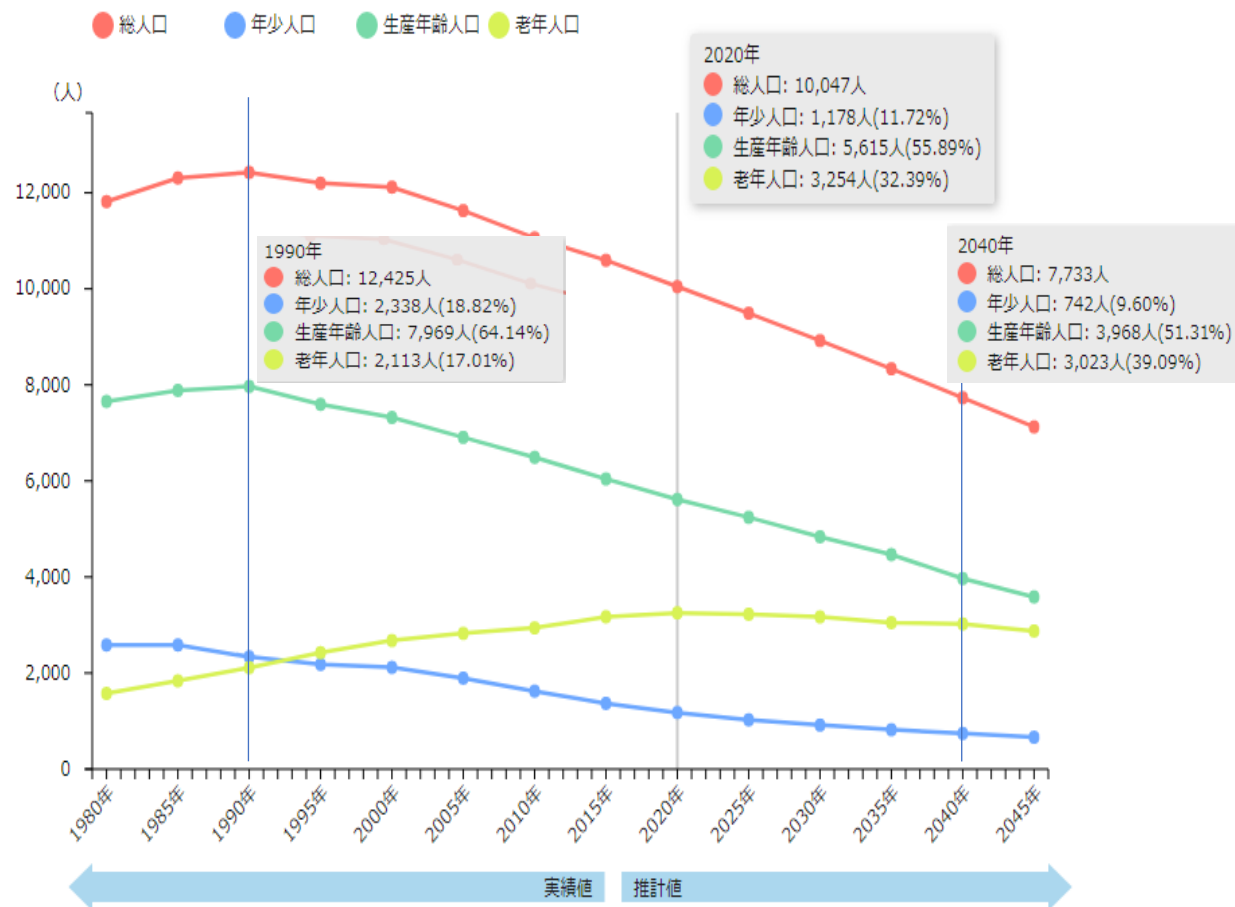
3. 高浜町を題材とした EBPM分析事例

それではここからはRESASを使って、
高浜町の人口をテーマにした
EBPM分析をご紹介します。
簡単な分析で恐縮ですが、
皆様も是非一緒にお考え下さい

それではRESASのTOP画面の
「データ分析支援」
⇒「福井県・高浜町」
⇒「テーマ：人口」
を開いてください

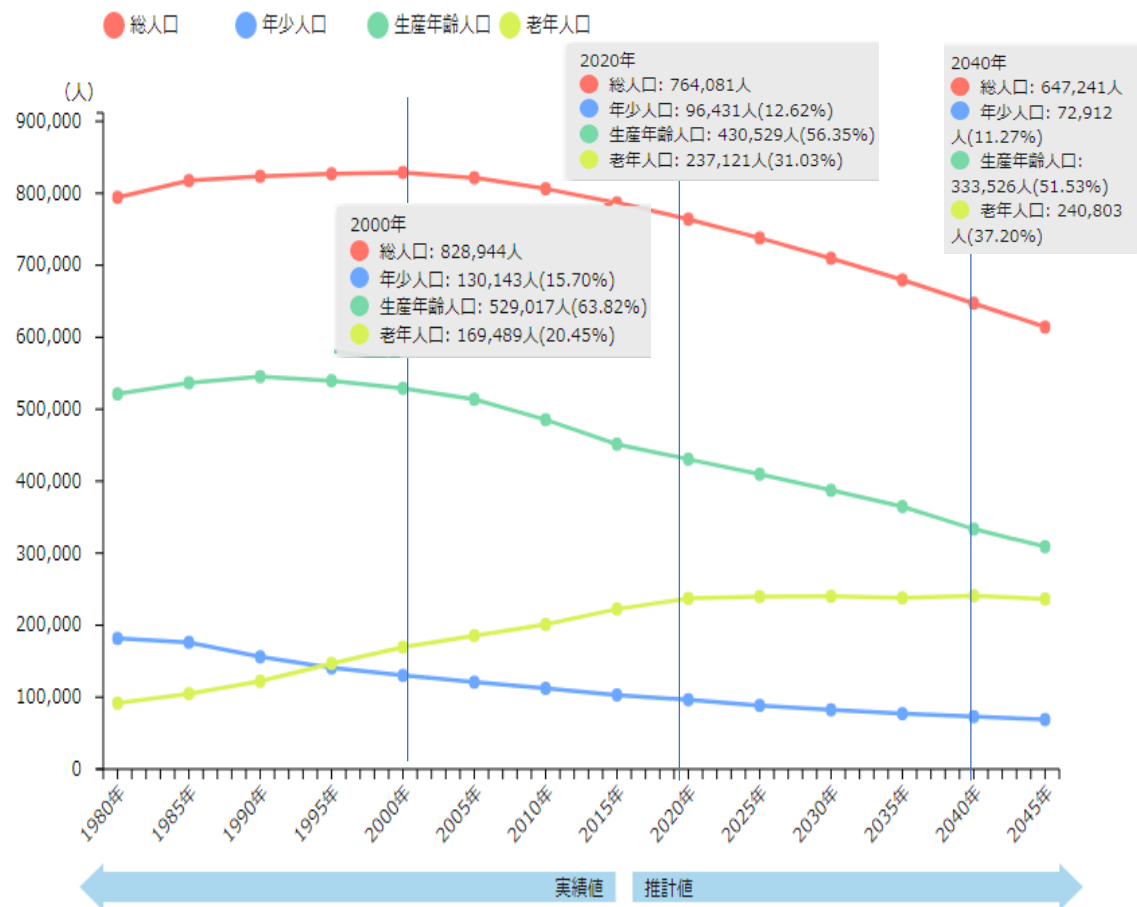
【高浜町の人口推移と将来予測】

福井県高浜町



年少人口 : 0歳～15歳未満
生産年齢人口 : 15歳以上～65歳未満
老年人口 : 65歳以上

福井県



- 高浜町は1990年の人口12千人強をピークに減少局面に入る。2020年時点で約1万人に減少。
- 国立社会保障・人口問題研究所の算定基準では2040年には人口7,733人(1990年比・▲37%、2020年比・▲23%)。
- 福井県全体においても、なだらかな人口減少が見込まれている状況。

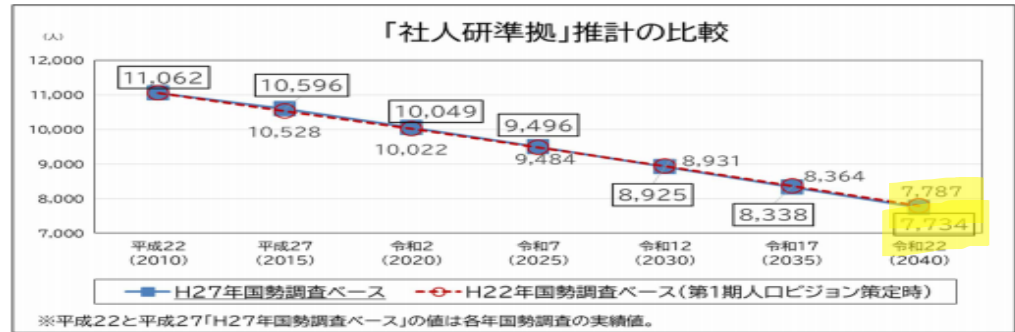
3. 将来人口の推計と分析

(1) 将来人口推計の比較

- 平成 27(2015)年に策定した「高浜町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」(以下「第 1 次人口ビジョン」という。)における人口推計は、社人研準拠と日本創成会議準拠による2つの推計手法で平成 22(2010)年国勢調査を基準として行いました。
- 2つの推計を比較すると、人口移動について、平成 17(2005)年から平成 22(2010)年の傾向が継続することを前提とした日本創成会議推計の方が、人口移動量が縮小することを仮定した社人研推計より厳しい推計となります。
- 「第2次人口ビジョン」では、2つの推計をもとに、平成 27(2015)年国勢調査を基準とした人口推計を行い、比較しました。

① 「社人研準拠」の人口推計の比較

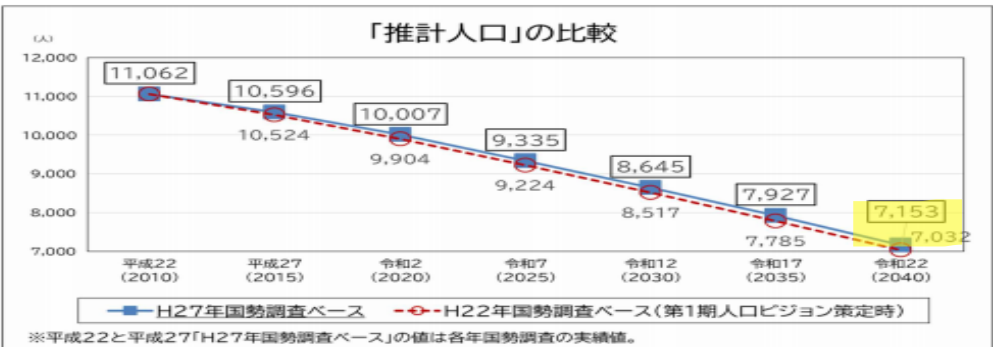
- 平成 27(2015)年の国勢調査を基準にした推計(以下「H27 国調推計」という)は、令和 2(2020)年が 10,049 人、令和 7(2025)年が 9,496 人、令和 22(2040)年が 7,734 人、これに対し、平成 22(2010)年の国勢調査を基準にした推計(以下「H22 国調推計」という)は、令和 2(2020)年が 10,022 人、令和 7(2025)年が 9,484 人、令和 22(2040)年が 7,787 人となっています。
- 令和 12(2030)年以降は、「H27 国調推計」は「H22 国調推計」を下回っています。



	平成22 (2010)	平成27 (2015)	令和2 (2020)	令和7 (2025)	令和12 (2030)	令和17 (2035)	令和22 (2040)
H22年国勢調査ベース「社人研準拠」 (前回人口ビジョン策定時)	11,062	10,528	10,022	9,484	8,931	8,364	7,787
H27年国勢調査ベース「社人研準拠」	11,062	10,596	10,049	9,496	8,925	8,338	7,734

② 「推計人口(日本創成会議準拠)」の比較

- 「第1次人口ビジョン」の「将来展望人口」は日本創成会議準拠による推計を用いています。
- 今回、平成 27(2015)年を国勢調査実績値とした時点更新を行ったところ、令和 2(2020)年が 10,007 人、令和 7(2025)年が 9,335 人、令和 22(2040)年が 7,153 人となっています。これに対し、「第 1 次人口ビジョン」では、令和 2(2020)年が 9,904 人、令和 7(2025)年が 9,224 人、令和 22(2040)年が 7,032 人となっています。
- 今回の「推計人口」は「第1次人口ビジョン」の「推計人口」を上回っています。



	平成22 (2010)	平成27 (2015)	令和2 (2020)	令和7 (2025)	令和12 (2030)	令和17 (2035)	令和22 (2040)
H22年国勢調査ベース「日本創成会議準拠」 (前回人口ビジョン策定時)	11,062	10,524	9,904	9,224	8,517	7,785	7,032
H27年国勢調査ベース「日本創成会議準拠」	11,062	10,596	10,007	9,335	8,645	7,927	7,153

【参考】各推計パターンの概要

	社人研推計	日本創成会議推計
基準年	2005年～2010年	2005年～2010年
推計年	2015年～2040年(～2060年)	2015年～2040年
概要	主に 2005 年から 2010 年の人口の動向を勘案し将来の人口を推計	社人研推計をベースに、移動に関して異なる仮定を設定。
出生に関する仮定	主に 2005 年から 2010 年の人口の動向を勘案し将来の人口を推計	社人研推計と同じ。
死亡に関する仮定	原則として、55～59 歳→60～64 歳以下では、全国と都道府県の 2005 年から 2010 年の生存率から算出される生存率を都道府県内市町村に対して一律に適用。60歳～64歳→65～69歳以上では上述に加えて都道府県と市町村の2000年→2005年の生存率の比から算出される生存率を市町村別に適用。	社人研推計と同じ。
移動に関する仮定	原則として、2005年～2010年の国勢調査(実績)に基づいて算出された純移動率が 2015 年～2020 年までに定率 0.5 倍に縮小し、その後はその値を2035年～2040 年まで一定と仮定。	全国の移動総数が社人研の2010年～2015年の推計値から縮小せずに、2035 年～2040 年まで概ね同水準で推移すると仮定。

※人口推計においては、年齢不詳の人数を各年齢に按分しているため、平成 22 年の総人口が国勢調査の数値と一致していない。

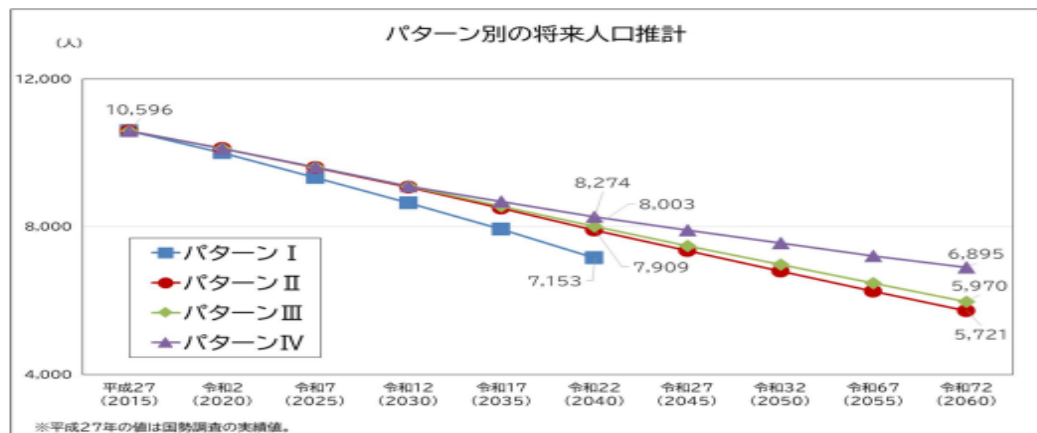
【高浜町・創生総合戦略P11.13】

2021.3.25 公表版

(2) パターン別の将来人口推計

- 「第1次人口ビジョン」で示している「推計人口(日本創成会議準拠)」について、平成 27(2015)年を国勢調査実績値として、出生・死亡と純移動を「第1次人口ビジョン」の 4 パターンを踏襲して推計しました。

推計パターン	出生・死亡に関する仮定	純移動に関する仮定	令和22(2040)年人口	
			第1次ビジョン	今回推計
I: 現状ベース	・ 社人研準拠	・ 全国の移動総数が縮小せず、令和 22(2040)年まで平成 17(2005)～22(2010)年と概ね同水準で推移。	7,032	7,153
II: 人口移動率が縮小(0.5倍)	・ 同上	・ 平成 17(2005)～22(2010)年の純移動率が令和 2(2020)年までに定率で0.5倍に縮小し、その後はその値で推移。	7,784	7,909
III: 合計特殊出生率が上昇	・ 国の人口ビジョンに準じる 令和 12(2030)年:1.80 令和 22(2040)年:2.07	・ 同上	7,902	8,003
IV: 人口移動率が均衡	・ 同上	・ 人口の純移動率が令和 12(2030)年に均衡(ゼロ)(2030年以降は転入・転出が均衡する)	8,369	8,274



2021.3.25 公表版

4. 「将来展望人口」について

令和 22(2040)年において **8,300 人** の定住人口を **確保**

- 「将来展望人口」は「第1次人口ビジョン」の考え方を踏襲し、以下の「政策誘導ステップ①～③」により、令和 22(2040)年において 8,300 人の定住人口を確保します。

現状【日本創生会議準拠の推計値】

	平成 27(2015)年	⇒	令和 22(2040)年
総人口	10,596 人	⇒	7,153 人
20～39 歳女性	886 人	⇒	384 人
			※減少率 56.7%で消滅可能性都市に該当

政策誘導ステップ①
【移住・定住の促進、雇用の受け皿拡大等事業】
平成 17(2005)年～22(2010)年の人口の純移動率を 0.5 倍程度に縮小させ転出超過を縮小します。

	平成 27(2015)年	⇒	令和 22(2040)年
総人口	10,596 人	⇒	7,909 人
20～39 歳女性	886 人	⇒	575 人

政策誘導ステップ②
【子育て支援、教育面の強化等事業】
合計特殊出生率を令和 12(2030)年で 1.80、令和 22(2040)年で 2.07(国の目標基準程度)へ回復させることで、人口の自然減に歯止めをかけます。

	平成 27(2015)年	⇒	令和 22(2040)年
総人口	10,596 人	⇒	8,003 人
20～39 歳女性	886 人	⇒	575 人

政策誘導ステップ③
【移住・定住の促進、雇用の受け皿拡大等事業】
令和 12 年(2030)年には人口移動率を均衡にして、転出超過を解消します。

将来【令和 22(2040)年の目標値】

	平成 27(2015)年	⇒	令和 22(2040)年
総人口	10,596 人	⇒	8,274 人
20～39 歳女性	886 人	⇒	652 人
			※減少率 26.4%で消滅可能性自治体から回避

【高浜町・創生総合戦略P24.25】

2021.3.25 公表版

4 将来像と3つの戦略

(1) 将来像

将来像は、令和12(2030)年度を目標年度とする「高浜町総合計画」で示しているとおり、以下のよう
に設定します。

くるむ つなぐ かがやく
～自然とともにある暮らし 若狭たかはま～

(2) 人口減少対策のメインターゲット

将来像を実現するために、そして、人口減少対策の視点から特に総合戦略の対象とすべきターゲット
を以下のとおり設定します。

・ピン！ト（定住支援）
・同窓会等開催支援事業

その1:20～30代女性の高浜出身者のUターン

- ・進学や就職のタイミングで男女ともに転出超過となっています。また、性別年齢階級別にみると男
性の人口に対して女性の人口が少なく、特に20～30代の男性1,245人に対して、女性886人で、
▲359人少なく男女バランスも悪く、この世代が増えないと、結婚・出産による自然増も期待できま
せん。
- ・高浜町にもっともゆかりがあり、町内に仲間もいる出身者で20～30代の女性をUターンしてもら
うことが第1のターゲットとなります。

Kurumuサポート

その2:20～30代の家族持ち者のI・Uターン

- ・高校卒業後に高浜町を出て行き、大学、就職、結婚と町外でした人が、一定期間経った後、子育ての
機会に親との同居や近居、生まれ育ったまちで働き直したいなどといった動機でふるさとに家族と
とUターンする人も現れています。
- ・そうした家族持ちは、人口減少対策効果も大きいので重要です。したがって、20～30代の家族持
ちのIターン・Uターンを促進することが第2のターゲットとなります。

その3:つながりの深化による20～30代のIターン(転入)

- ・「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の
人々と継続的に多様に関わる人々を指す言葉で、高浜町と何らかの関わりがある者(観光や仕事、

2021.3.25 公表版

居住、滞在など)や高浜町に縁がある者(ルーツや縁者、魅力を感じた人など)との新たな連携や多
様な交流を通じて、関係をより深くすることで、高浜町への移住・定住に繋げていくことが重要です。
・Uターンに期待するだけでは、転出超過に歯止めをかけることはできないことから、高浜町の魅力
を発信しつつ、関係人口など、関わり・縁ある人々の総数を増やすとともに、町や町民とのつながり
を強化し、その縁をより深め、それぞれが積極的に関わり合える、溶け込みやすい風土を醸成してい
くことが必要です。
・そうしたつながりの深化による、特に、20～30代のIターン者の転入促進することを第3のターゲ
ットとします。

交流人口増加 ⇒ 関係人口 ⇒ 定住人口へ

関係人口のイメージ

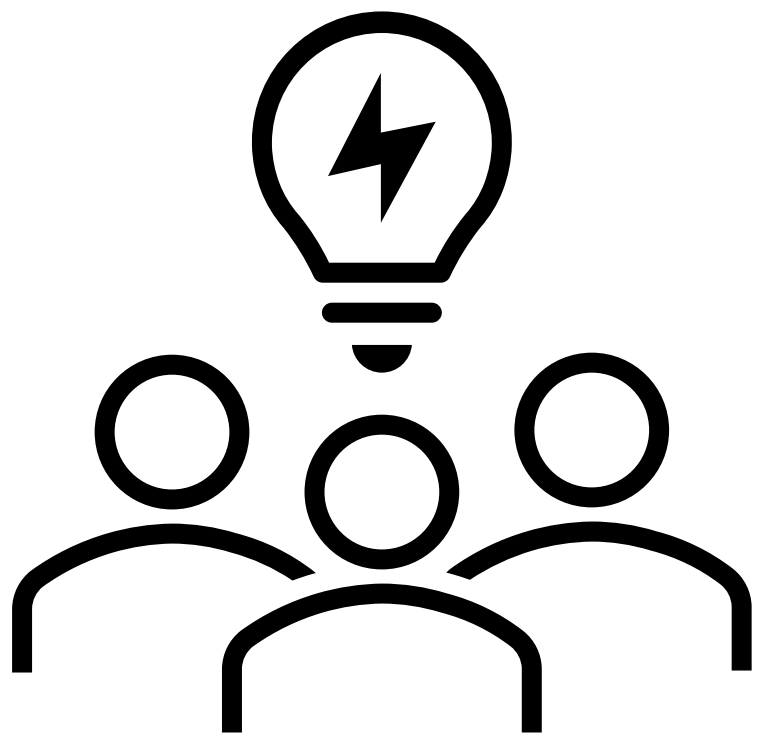


総務省資料より引用

(3) 3つの戦略

「第1次総合戦略」における3つの戦略(「きっかけづくり」、「住まい・暮らし」、「しごと創出」)を踏まえ
つつ、高浜町総合計画の将来像の実現に向けて設定した3つのリーディングプロジェクトを軸に、人口
減少対策のメインターゲットを対象とした取り組みを進めるための戦略として、「つながり深化」、「暮ら
しよさ充実」、「しごと創出」の3つを設定します。





関係人口を増やすための
具体的な施策を検討する際には
どのように
考えていくのがよいのでしょうか？



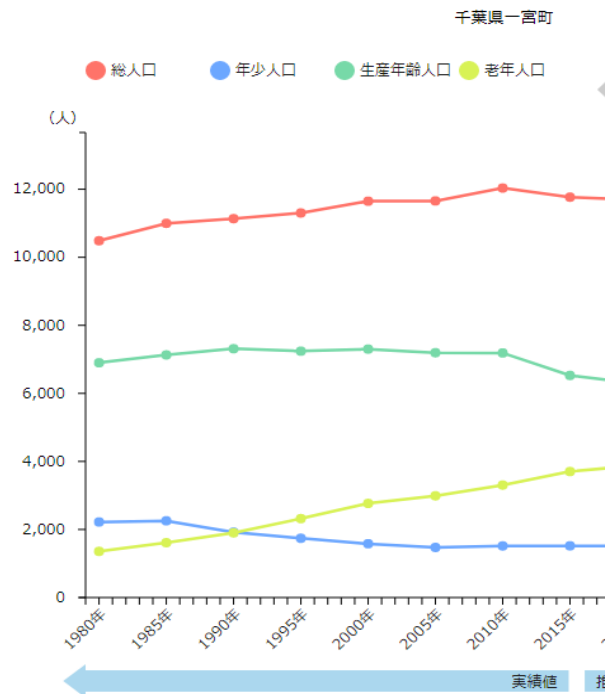
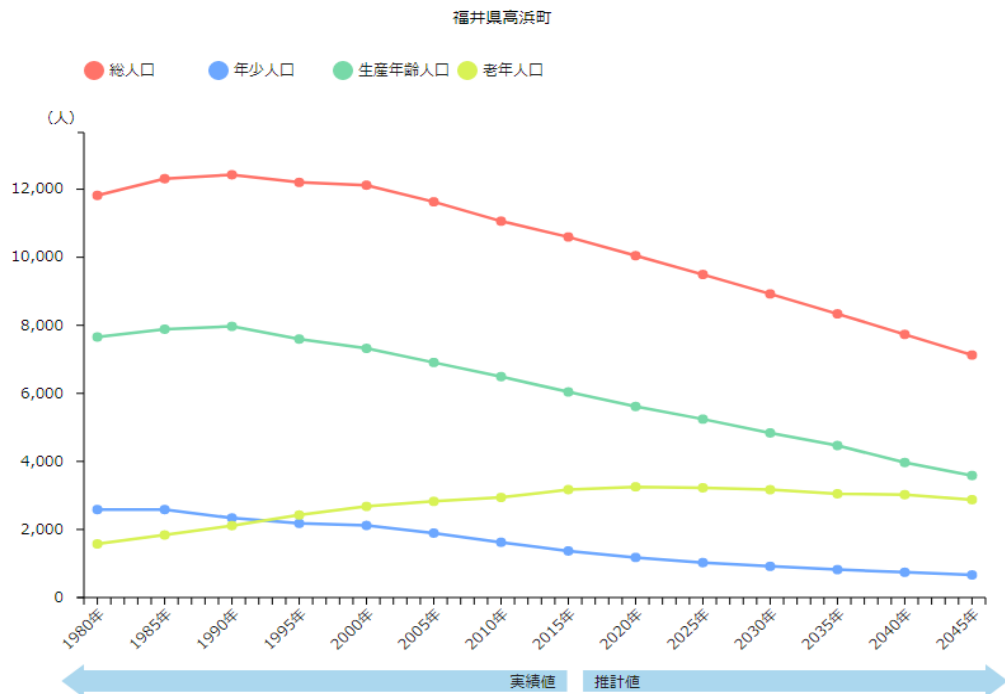
1つの方法は
高浜町と同じ人口規模の自治体で
人口の減っていない
自治体の取組を調べる
(※RESASを使って調べられます)

【分析支援機能の活用・千葉県一宮町との事例】

データ分析支援TOP 分析テーマ選択 人口推移

人口推移 > 人口ピラミッド > 自然増減・社会増減の推移（折れ線） > 自然増減・社会増減の推移（移動平均） > 人口の自然増減・合計特殊出生率と人口推移 > 人口の社会増減・人口移動 > From-To（定住人口） > 人口推移のまとめ

【目的】総人口・年代別人口がどのように推移するか把握しよう。



類似自治体検索

① 検索対象とする自治体の人口規模を選択してください。

1万～1.5万人

② 検索したい類似自治体の種類を選択してください。

☐ 年齢階層別人口割合が類似した自治体

☒ 全産業の従業者数割合（事業所単位）が類似した自治体

類似自治体の選択は1地域のみ

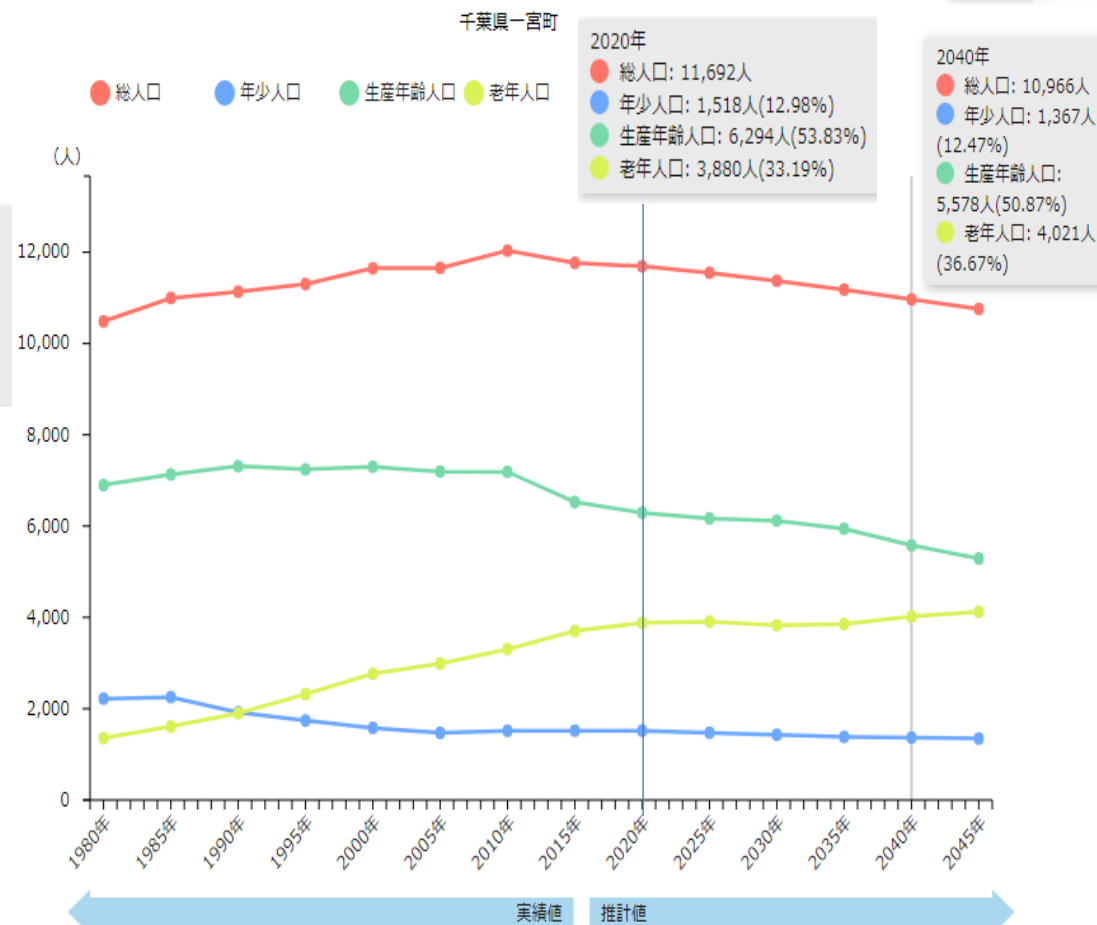
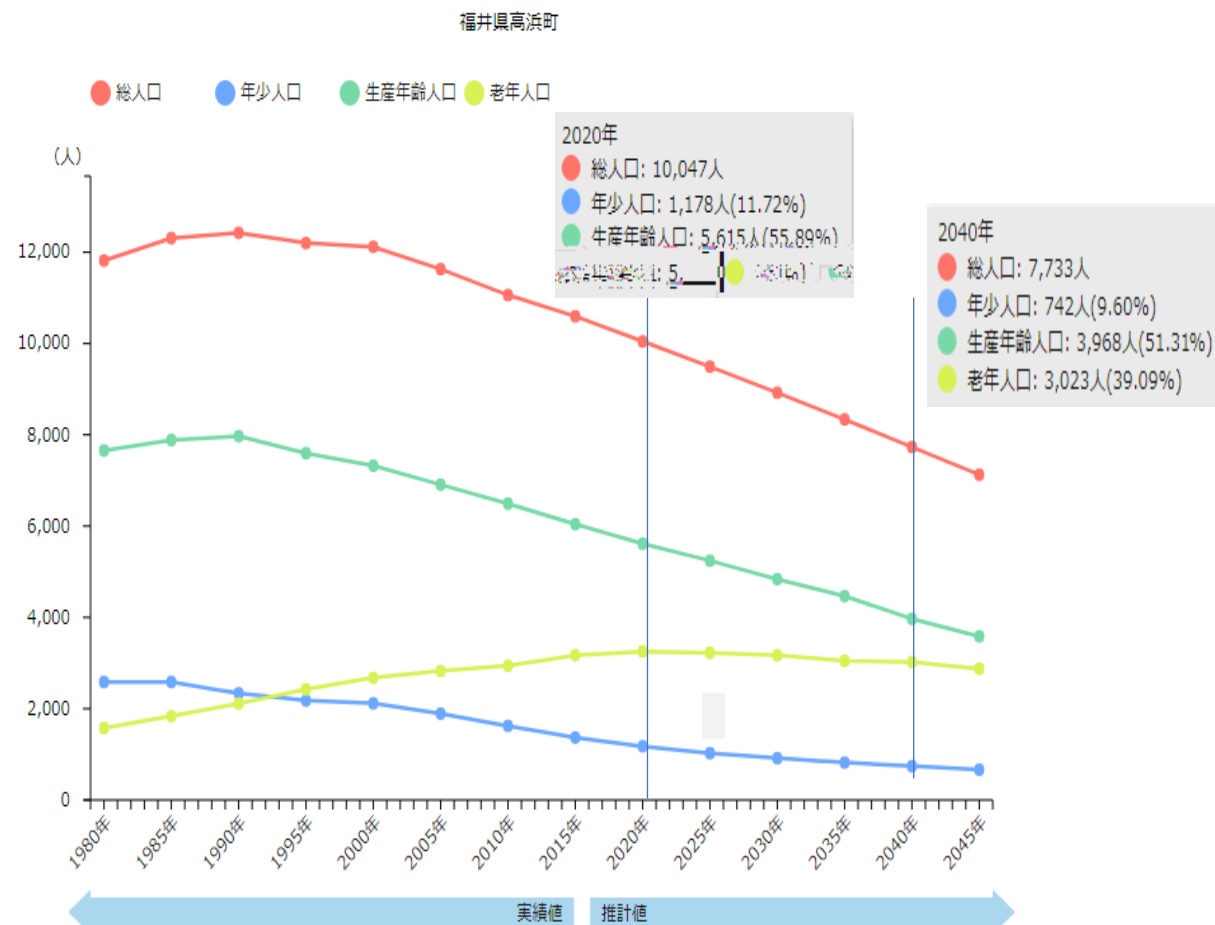
☒ 県内自治体のみを表示

順位	選択	都道府県	市区町村	人口	社会増減率 (5年前からの増減)
1	☒	岡山県	庄田町	10,929	0.0053 (-0.0017)
2	☒	岐阜県	川辺町	10,197	0.0045 (0.0062)
3	☒	北海道	上富良野町	10,826	-0.0085 (0.0012)
4	☒	和歌山県	みなべ町	12,742	-0.0051 (0.0017)
5	☒	三重県	多気町	14,878	-0.0028 (-0.0012)
6	☒	埼玉県	美里町	11,207	-0.0008 (0.0008)
7	☒	北海道	浦河町	13,075	-0.0143 (-0.0021)
8	☒	千葉県	一宮町	11,767	0.0069 (-0.0022)
9	☒	千葉県	山根町	14,867	-0.0044 (-0.0013)
10	☒	長野県	坂城町	14,871	-0.0013 (0.0044)

分析支援機能を利用すれば、同規模自治体の人口推移を簡単に調べることが出来ます。比較自治体の人口予測をみると、**千葉県一宮町（いちのみやちょう）**はあまり人口が減らない見込みのようです。なぜでしょうか？
それでは今回は一宮町の取組事例を見てみましょう。

【分析支援機能の活用・千葉県一宮町の事例検証】

年少人口 : 0歳～15歳未満
 生産年齢人口 : 15歳以上～65歳未満
 老年人口 : 65歳以上



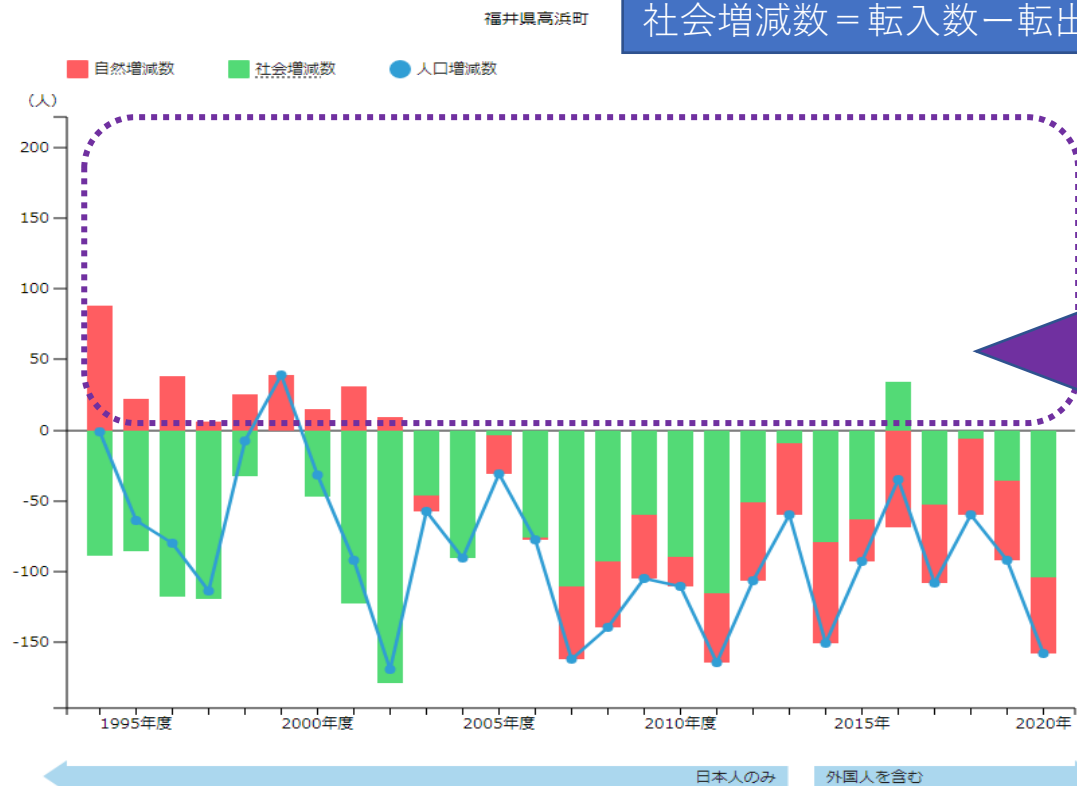
2020年時点においては、高浜町、一宮町共に、人口規模や年少人口、生産年齢人口、老年人口などの人口構成比率にも大きな違いはありません。
 では、他にどのような違いがあるのでしょうか？

	2020年	2040年	増減
福井県高浜町	10,047	7,733	▲2,314
千葉県一宮町	11,692	10,966	▲726

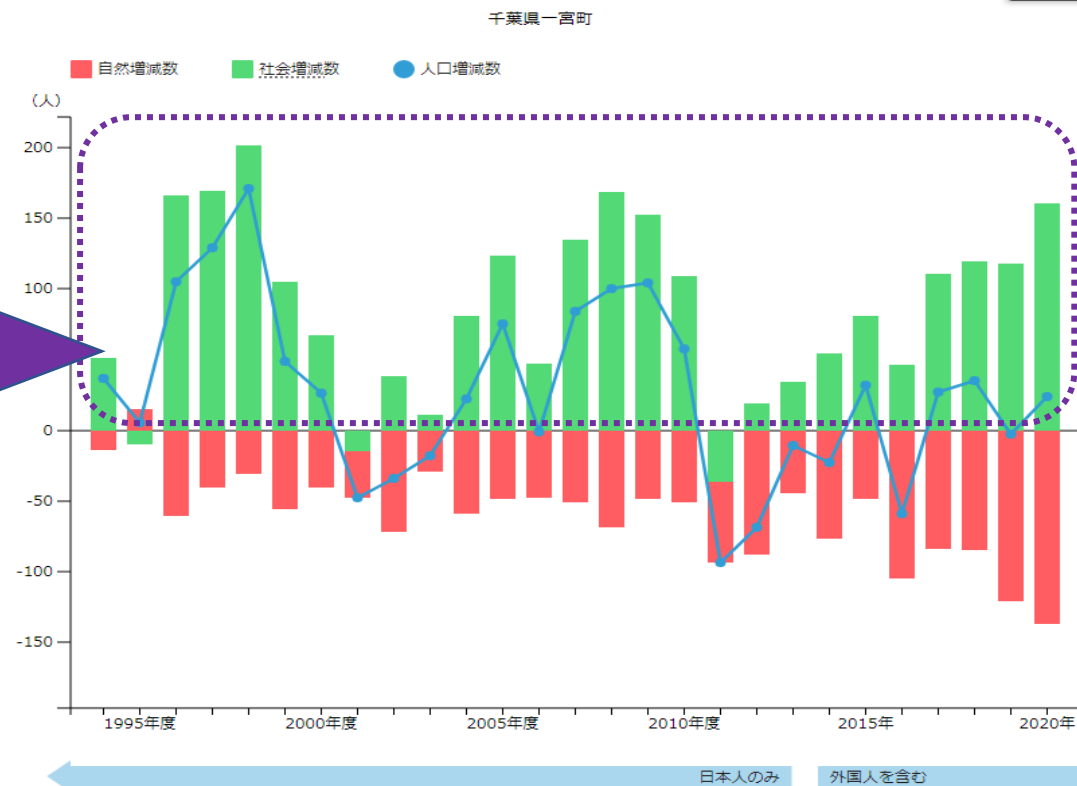
【高浜町と一宮町の違い】

自然増減と社会増減の推移を確認しよう。

自然増減数 = 出生数 - 死亡数
社会増減数 = 転入数 - 転出数



社会増減数の違い



2040年の将来人口が大きく異なる要因は、どうやら「社会増減数」の違いにあるようです。

※社会増減数 = 転入数 - 転出数

高浜町は2016年を除いて、社会増減数が減少（転出者の方が多い）。一方、一宮町は数年を除いて、社会増減数が増加となっています。それでは、なぜ一宮町は増加となっているのでしょうか？

一宮町への転入理由

※町内アンケート調査より

※一宮町の転入者アンケート
(2019/4～2020/3・対象者281人の調査結果)

Q.あなたが居住地として一宮町を選んだ理由は？

1位：豊かな自然環境があるから 90人(19%)

2位：サーフィンができるから 72人(15%)

3位：住居にかかる費用が手頃だから 69人(15%)

4位：都心への交通アクセスが良いから 68人(15%)

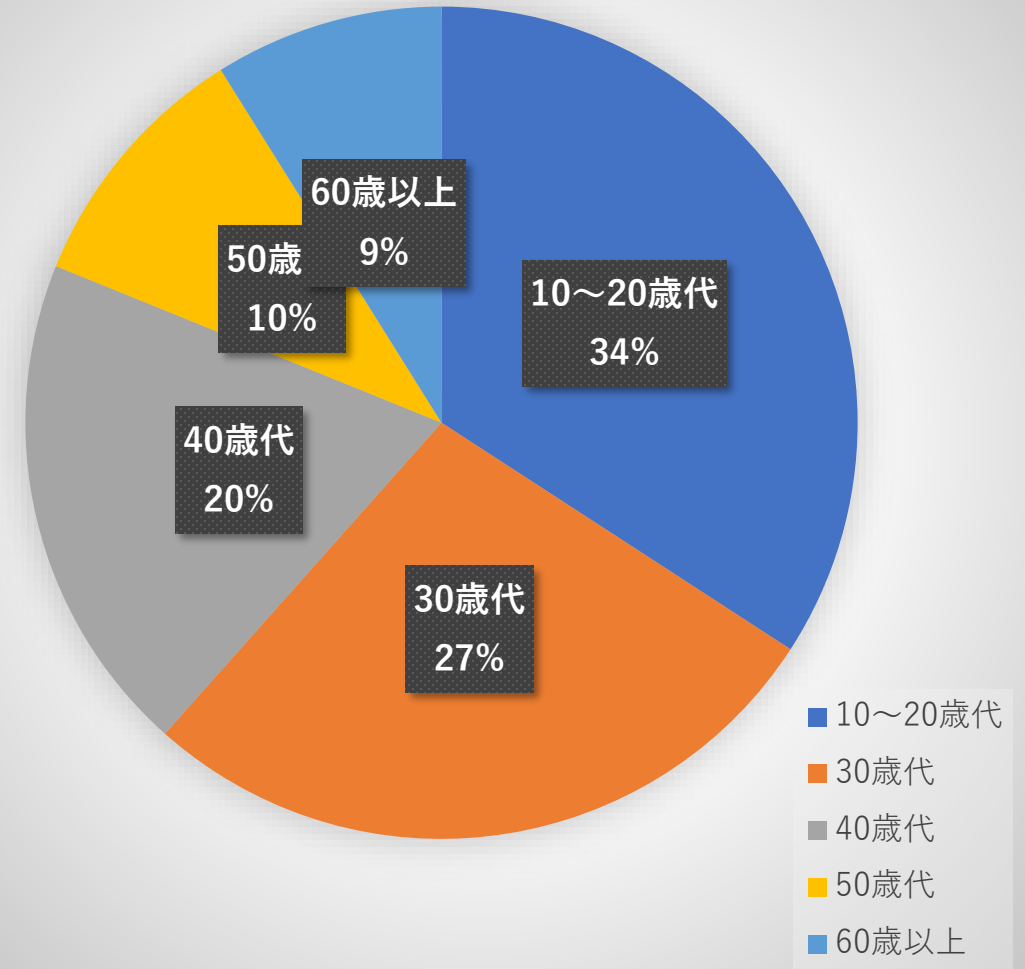
◆転入者の年齢別内訳をみると、10～40歳代の割合が多いことも特徴的です。

◆10～40歳代の転入者が多いこともサーフィンと関係があるのでしょうか？

この結果はたまたまなののでしょうか？

それとも意図的に取り組んだ結果なののでしょうか？

転入者の年代別内訳





サイト内検索 Google 提供
よく検索される言葉: [入札](#) [ふるさと納税](#) [特定健診](#) [母子手帳](#)

文字サイズ変更 [標準](#) [拡大](#) 色合いの変更 [あ](#) [あ](#) [あ](#)

[各課のページ](#) | [お問い合わせ](#) | [サイトマップ](#)



ホーム

くらしのガイド

オリンピック・観光

子育て・教育・文化

医療・福祉・保険

まちづくり・経済

役場案内

ホーム > [町づくり・町の経済](#) > [まちづくり](#) > [サーフィンと生きる町。](#)

▶ [オリンピック・観光情報](#)

▶ [子育て・教育・文化](#)

▶ [医療・福祉・保険](#)

▶ [イベント・行事](#)

▶ [町づくり・町の経済](#)

▶ [町の財政状況](#)

▶ [町の計画](#)

▶ [まちづくり](#)

▶ [公共交通](#)

▶ [農業](#)

▶ [林業](#)

▶ [一宮町キャラクター『一宮いっちゃん』](#)

▶ [水産業](#)

▶ [商工業](#)

▶ [地方創生](#)

▶ [役場案内](#)

サーフィンと生きる町。

▶ 「サーフィンと生きる町」ポスター第1次審査通過

一宮町では、東京五輪サーフィン競技会場に決定した釣ヶ崎海岸や一宮町の魅力を広く知っていただくため、ホームページ「サーフィンと生きる町。」を開設しています。



サーフィンと生きる町。

ICHINOMIYA

[サーフィンと生きる町。](#)

新着情報 New Arrival

動画「SURF&WORK」

2017年7月、サーフィンの盛んな千葉県一宮町に、サーフィンと仕事を楽しむシェアオフィス「SUZUMINE」が誕生しました。コンセプトは「SURF&WORK」。この時代ならではの新しい働き方を実現する、サーファー向けシェアオフィスです。そんな「SUZUMINE」はこの夏、モニターキャンペーンを実施！モニターに当選したY氏に、実際にSUZUMINEを利用してもらいながら、一宮ライフを体験してもらうPR映像を制作しました。サーフィンを切り口にしながら、一宮町の様々な魅力がたっぷり詰まったPR映像となっております。

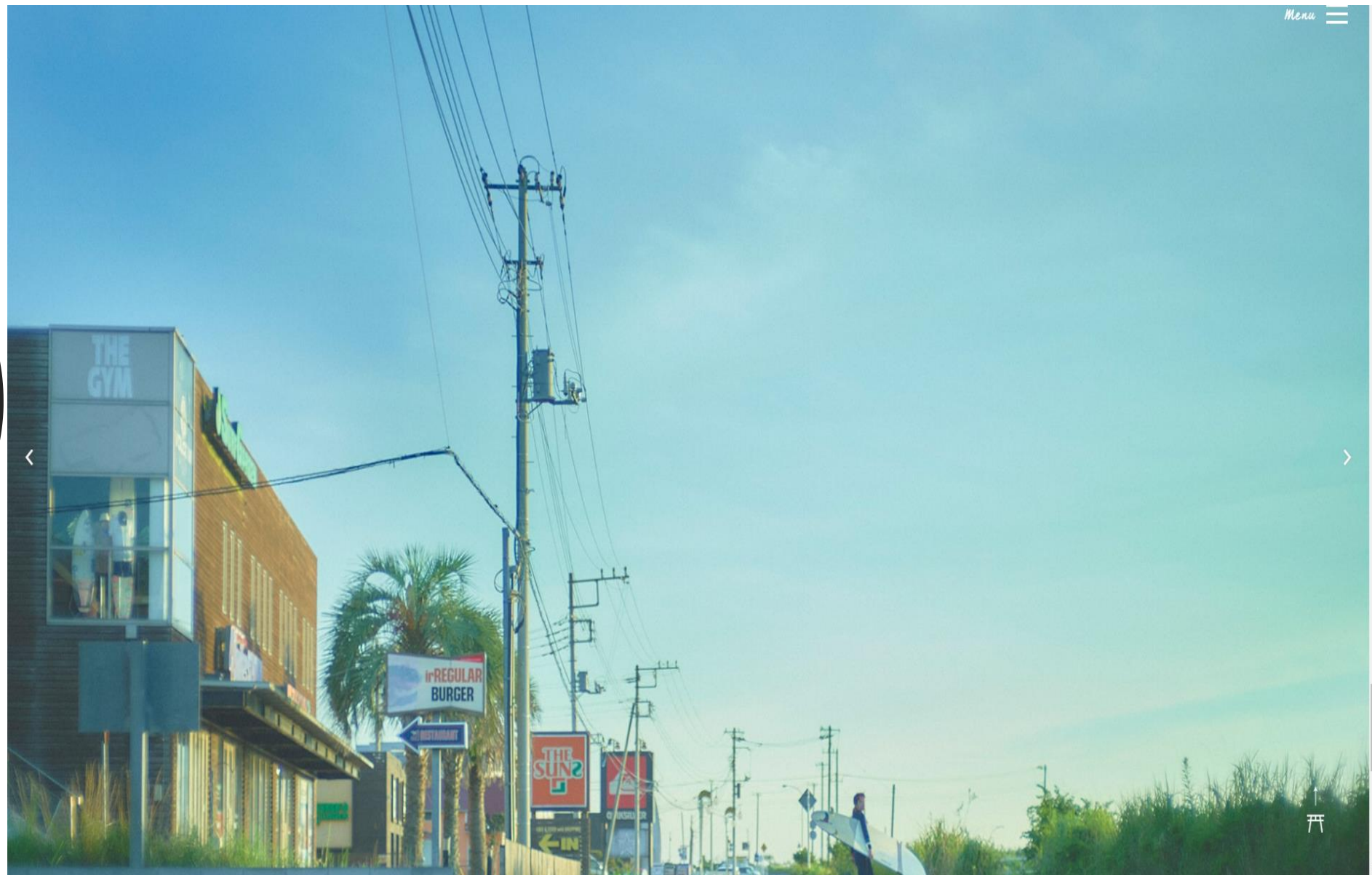
緊急・災害情報

- ▶ [津波注意報解除 \(1月16日\)](#)
- ▶ [津波注意報 \(1月16日\)](#)
- ▶ [津波注意報 \(1月16日\)](#)
- ▶ [火災の鎮火のお知らせ \(1月12日\)](#)
- ▶ [火災発生のお知らせ \(1月12日\)](#)
- ▶ [土砂災害から身を守るために](#)
- ▶ [災害時の避難情報発令に関するお知らせ](#)
- ▶ [防災行政無線電話応答サービス](#)
- ▶ [コロナ禍の災害に備えて](#)
- ▶ [緊急災害情報](#)

安心・安全情報

- ▶ [国土強靱化地域合同計画](#)
- ▶ [今月の日曜・休日当番医](#)
- ▶ [緊急災害情報](#)
- ▶ [一宮町地域防災計画](#)
- ▶ [消防・防災・防犯](#)
- ▶ [避難所](#)
- ▶ [一宮町安全・安心メール配信](#)

サーフィン
と生きる町
一宮町



サーフィンと
仕事を
両立させる
シェアオフィス
“SUZUMINE”



【一宮町・創生総合戦略P6.7】

3. 一宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけとPDCAサイクル

(1) 一宮町総合計画等との関係

一宮町総合計画に定められた事業分野の中から、まち・ひと・しごと創生法における基本目標に関する箇所を重点施策とし、再度評価検証して策定したものを一宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、総合戦略）として実施していきます。

(2) 一宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定期間

総合戦略は、平成27年度から平成31年度までの5カ年計画とします。ただし、5カ年期間中も確立されたPDCAサイクルをもとに、毎年度、効果検証して見直しを図るものとします。なお、総合戦略に記載する具体的な事業は、まち・ひと・しごと創生法の趣旨に基づき、今後、本町が独自に行っていく新規事業を記載対象とします。

(3) 一宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略の5つの柱

総合戦略は、国の4つの基本目標を本町の実情に合わせた5つの柱を立て、推進します。

① サーフストリート構想

海岸から県道30号線に沿ったエリアをサーフストリートとして位置付けます。このエリアに住民とサーファーやその同行者、保養所等の宿泊客、観光客が共に出会い、交流を育むための拠点となるサーフィンセンターを設置します。この拠点を核として、サーフストリートをブランディングし、サーファーやその同行者がより町を楽しめるようにします。

また、官民連携による良好な住宅環境を整え、サーファーが住み、暮らし、集まる拠点エリアに育てます。

② 都市軸の整備

JR上総一宮駅西側のエリアは古くからコンパクトに機能が集中しています。その中心市街地としての機能を強化し、サーフポイントとして注目を浴び、賑わいを見せている駅東側との双方の特色を活かすために、町の東西をつなぐ駅を中心に都市軸を整備し、町全体の活性化を図ります。

③ 雇用創出と事業創出

本町の基幹産業である農業の構造改革を進め、雇用の創出を図り、既存企業の競争力を高めることで雇用を安定させます。また、社会構造の変化に伴う課題が大きくなることから、その解決手法をコミュニティビジネス化し、事業の創出を進めます。

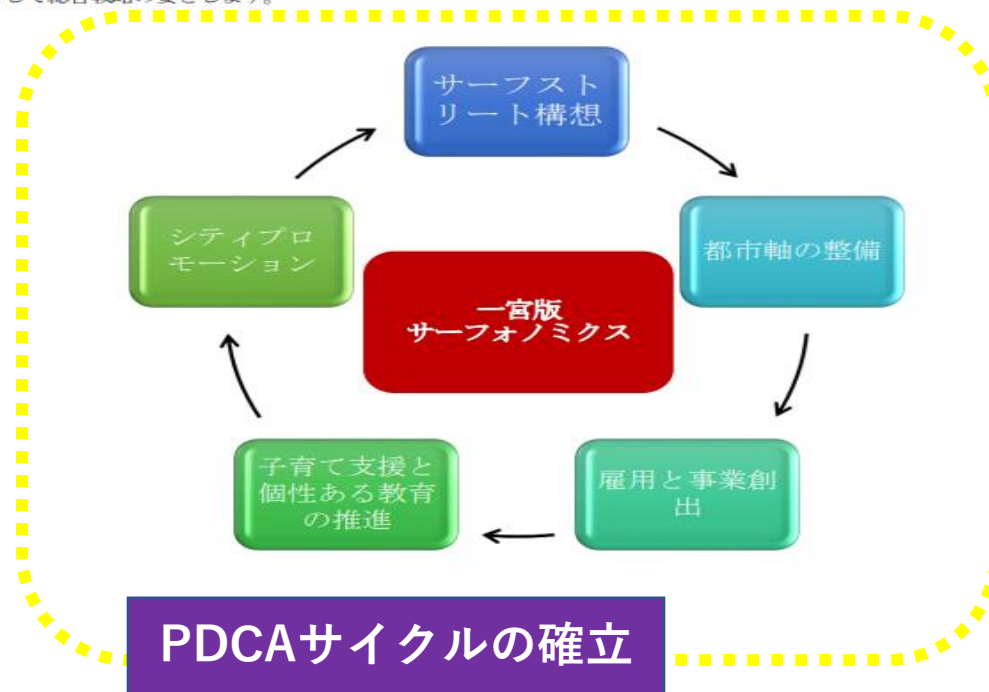
④ 子育て支援と個性ある教育の推進

共働き世帯をはじめ、すべての子育て家庭が安心して子育てをすることができるよう、子育て支援サービスの充実を図ります。また、自主性や社会性等心身健やかな成長や基礎的学力の向上、そして郷土への愛着等、時代にあった先進手法を取り入れながら、様々な体験学習を行い、本町ならではの教育環境の充実を推進します。

⑤ シティプロモーション

本町は、海、山、田畑といった自然の魅力だけでなく、ゴルフ、サーフィン等のスポーツ体験やトマト、梨といった農産品、玉神社等、多く地域資源が存在しています。この地域資源を、地域内外に効果的に発信、訴求するシティプロモーション事業を推進し、来訪者の増加、投資の増加、移住につなげ、「一宮版サーフオノミクス」の好循環の原動力を生み出します。

以上を総合戦略の5つの柱として位置付け、交流人口の増加、経済の維持・発展、雇用の確保、転入者の増加、転出者の抑制、魅力情報の発信という好循環を生み出し、その仕組みを「一宮版サーフオノミクス」として総合戦略の要とします。



【一宮町の取組事例まとめ】

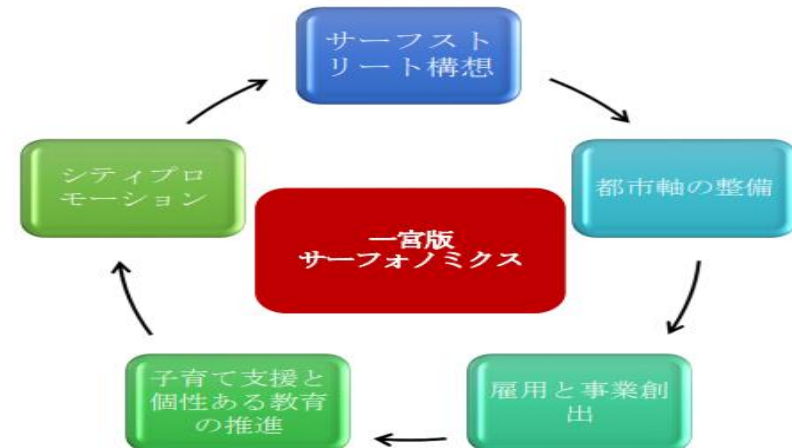
サーフォノミクス (Surfonomics) とは

サーファーが集まることによる経済効果のことを指す言葉です。自然保護と経済振興を両立できるサーフォノミクスはアメリカではすでに研究が始まっています。カリフォルニアでは1回の週末だけで、サーファー175万人が120億円の出費（ガソリン、飲食、サーフィングッズ等）を行うことが研究の結果明らかになりました。また、スペインのムンダカという人口わずか1,700人の漁村では、サーフィンに来る観光客の影響で年間5億4,000万円の経済効果を生み出しています。年間約60万人のサーファーが本町を来訪していることを考えると、本町でも経済の活性化が期待されます。

本町は、サーフィンの国際大会が開催される等、国内屈指のサーフポイントが存在します。また、トライアスロン大会の開催、体育協会ウォーターマリンスポーツ部の創設等、サーフィンをはじめとしたウォータースポーツ文化が根付いていることに加え、サーフストリートには多くのサーフショップが建ち並び、日本有数のサーファーが集まる町として発展してきました。

一宮版サーフォノミクスとは、こうした背景を軸に、海沿いの文化と豊かな自然環境を思う存分に享受し、ゆとりある住宅環境や働く場を創出することで、町の魅力に磨きをかけ、新たな人々たちを呼び込むという好循環を生み出す仕組みです。サーファーが集まることによる直接的な経済効果だけではなく、移住促進、定住、魅力発信という循環型の経済効果を打ち出していく考えです。

- ◆2009年に役場内に移住推進担当を設置してから、サーフタウンとしてPR開始。
 - ◆2014年に日本創生会議が発表した「消滅可能性都市」に一宮町は該当していなかった。
- 町が要因を調べたところ、人口1万2千人の町に、年間60万人のサーファーが訪れていることを把握。
- ◆その結果を受け、良好なサーフポイントが存在するロケーションや地元のサーフィン文化を活かした「一宮版サーファノミクス」構想を2015年10月の創生総合戦略内で提起。
 - ◆具体的に5つの柱をもとに、構想をすすめている。



一宮町の事例を先ほどの
「交流人口増加 ⇒ 関係人口 ⇒ 定住人口へ」の
フローで考えてみるとどうなるのでしょうか？

定住人口の 獲得フロー図 (一宮町)

交流

サーフィンを観光資源として、
交流人口を増やす

人口

サーフィン好きの集まる町として
全面的にPR(ロケーション等)

関係 人口

シェアオフィスなどの
ワーケーションの場を設置、利用

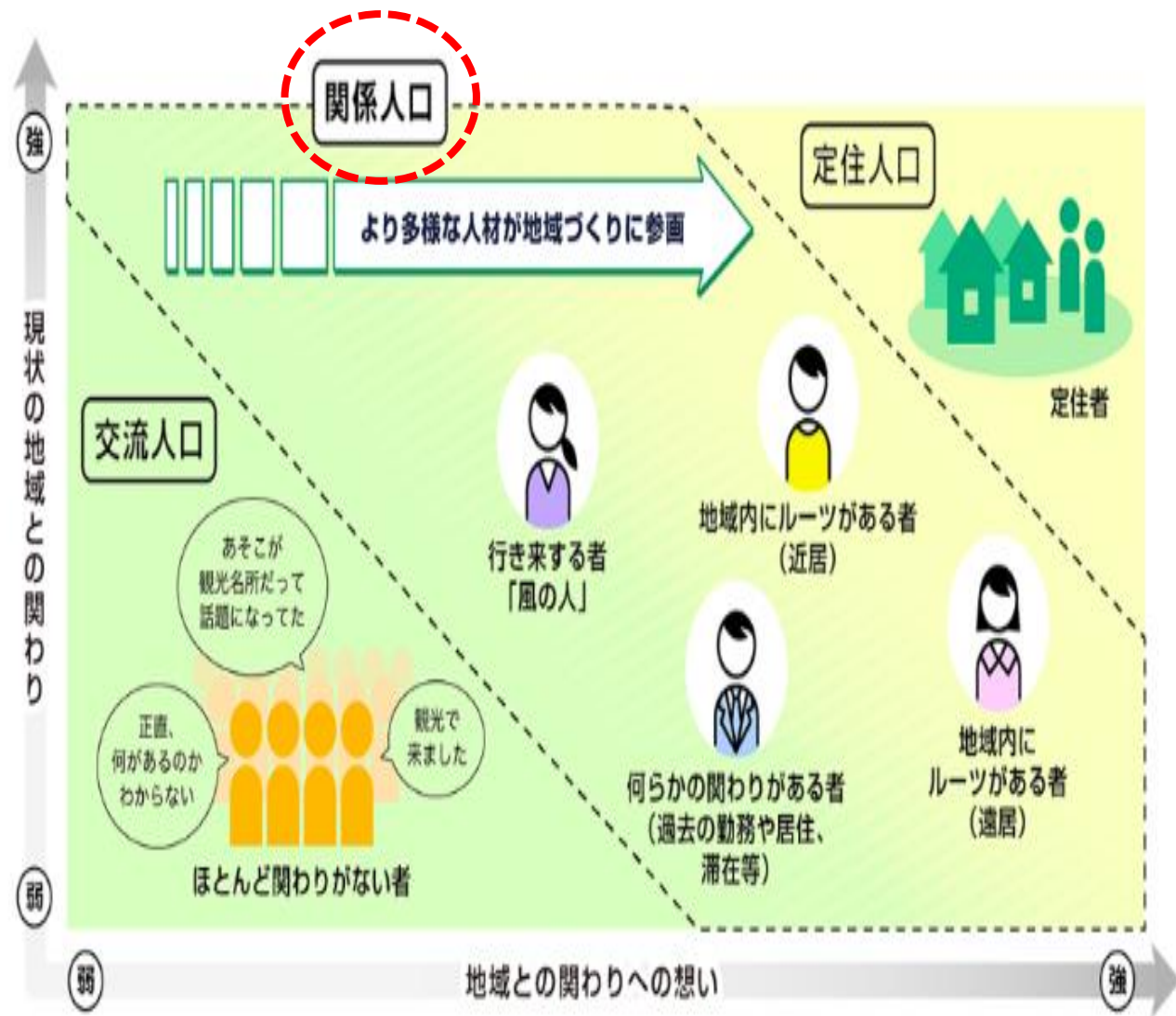
サーフィンをきっかけに町との交流機会増加
回遊性・滞在時間の増加により、関係人口へと
変化させた

定住

ワーケーションから定住へ
サーファー向け不動産の拡充

人口

サーフィンをきっかけに町を支える
存在へ



それでは「交流人口」から「関係人口」となる人は
訪問先に一体何を求めているのでしょうか？
(関係人口の訪問先地域での過ごし方)

また、地域と関わる上で何が阻害要因と
なっているのでしょうか？

データを確認してみましょう

1-8 三大都市圏に居住する関係人口(訪問系)の

地域における過ごし方

- 三大都市圏に居住する関係人口(訪問系)の地域における過ごし方については、“地域ならではの飲食や買い物”や“自分の趣味や地域の環境を楽しむ活動”等の趣味・消費活動及び“地域の人との交流・コミュニケーションを楽しむ、人脈をつくる”や“祭りや地域体験プログラム等への参加”等の参加・交流活動を行う人の割合が大きくなっている。

三大都市圏に居住する関係人口(訪問系)の過ごし方



(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施) (直接寄与型、人数ベース)

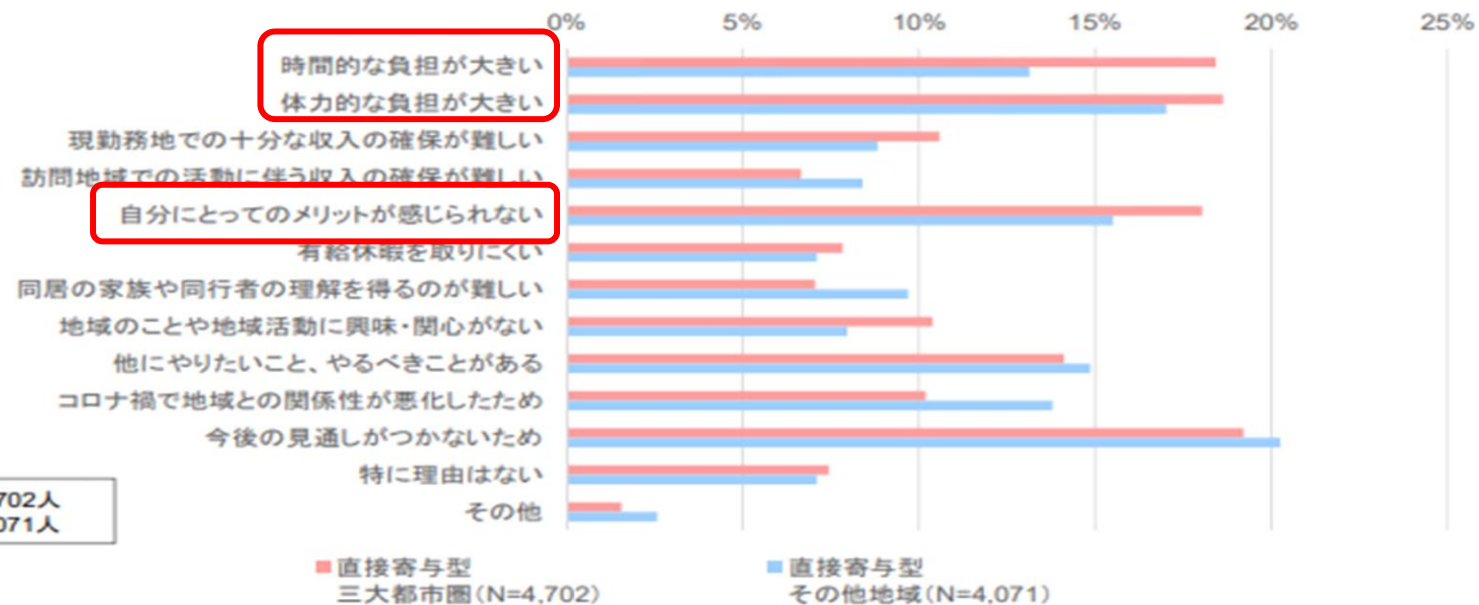
1-40 関係人口が地域との関わりを継続する上での阻害要因 (関係人口(訪問系、直接寄与型))

- 「今後の見通しがつかない」及び「コロナ禍で地域との関係性が悪化した」といった回答が一定数確認されており、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が一定程度確認される。
- その他地域と比較して、三大都市圏では、「時間的な負担が大きい」と回答する人の割合が特に大きい。

関係人口(直接寄与型)が地域との関わりを継続する上での阻害要因

Q2-19.「続けたくない」と思う理由を教えてください。(いくつでも可)

※複数回答可



(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施) (直接寄与型、人数ベース)

どうやら「**時間的制約**」は
関係人口を増やす上で、大きなポイントとなりそうです。

それでは「関係人口」から「定住人口」
となった転入者の方は
近隣エリア(時間的制約の少ない)の人々なののでしょうか？

実際に一宮町を事例にデータで確認してみましょう

【千葉県一宮町の転入者はどこから??】

人口
マップ

人口の
社会増減

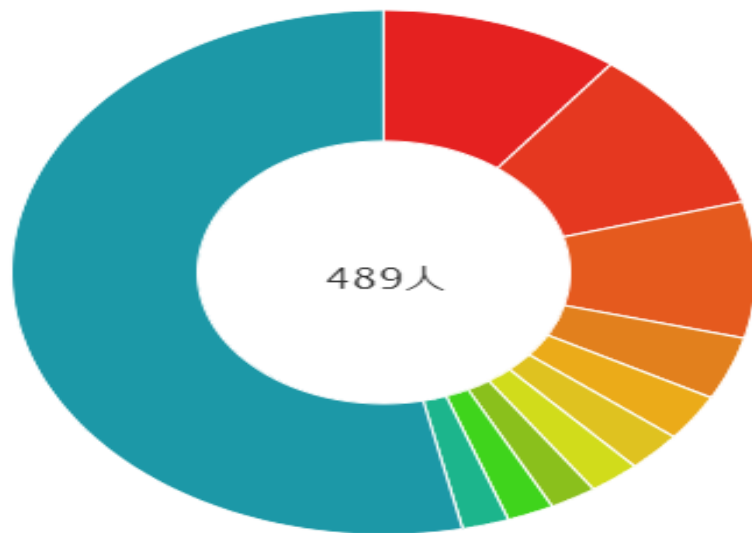
表示レベル
市区町村単位

From-to
を選択

千葉県一宮町・2020年度

転入数内訳

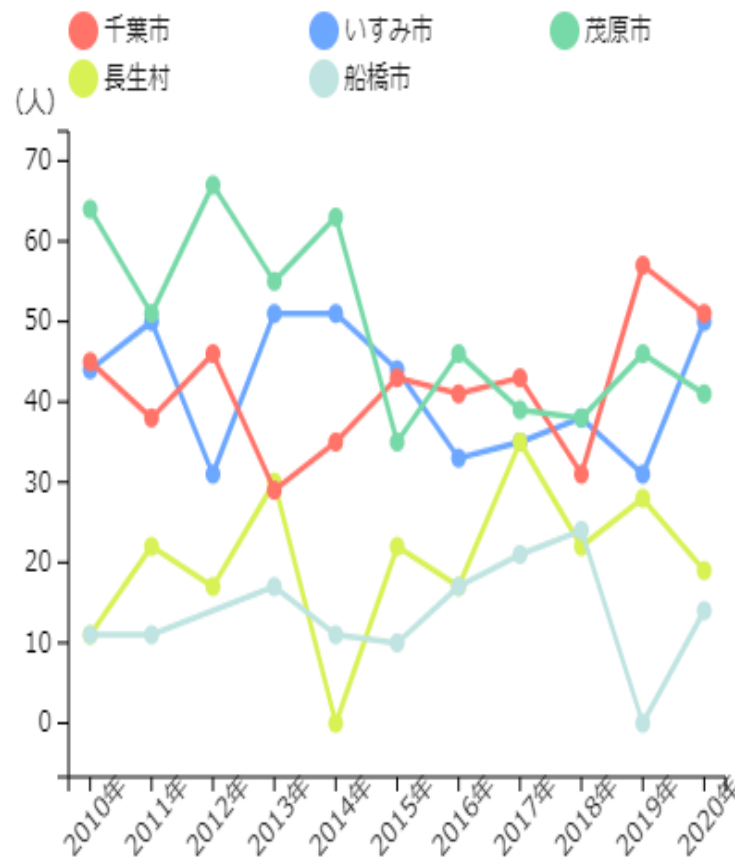
総数



- 1位 千葉県千葉市 51人 (10.43%)
- 2位 千葉県いすみ市 50人 (10.22%)
- 3位 千葉県茂原市 41人 (8.38%)
- 4位 千葉県長生村 19人 (3.89%)
- 5位 千葉県船橋市 14人 (2.86%)
- 6位 千葉県市原市 12人 (2.45%)
- 7位 東京都港区 11人 (2.25%)
- 8位 東京都葛飾区 10人 (2.04%)
- 8位 東京都足立区 10人 (2.04%)
- 8位 東京都江東区 10人 (2.04%)

転入数上位地域

総数



○千葉県一宮町の転入者の内訳を確認すると、1～6位の上位はいずれも「千葉県内」であり、7位以降は「東京都東部エリア」となっています。

○これらエリアは「時間的制約」の観点からみた場合、どのような関係性があるのでしょうか？

○それでは一宮町への転入者の転入元と一宮町の「距離的関係性（移動時間）」をRESASで確認してみましょう。

【一宮町転入者の転入元からの移動時間】

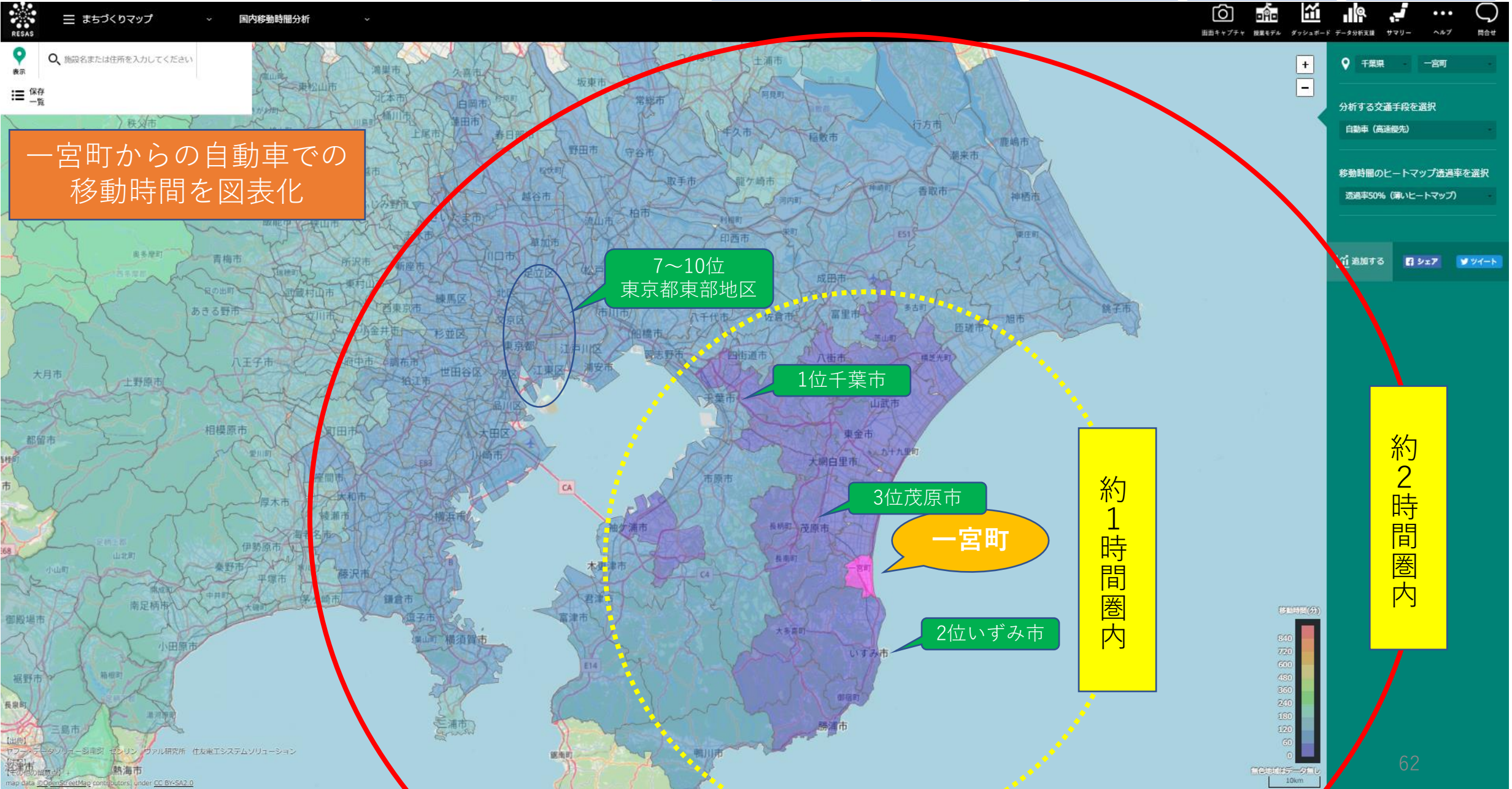
まちづくり
マップ

国内移動時間
分析

自治体を選択

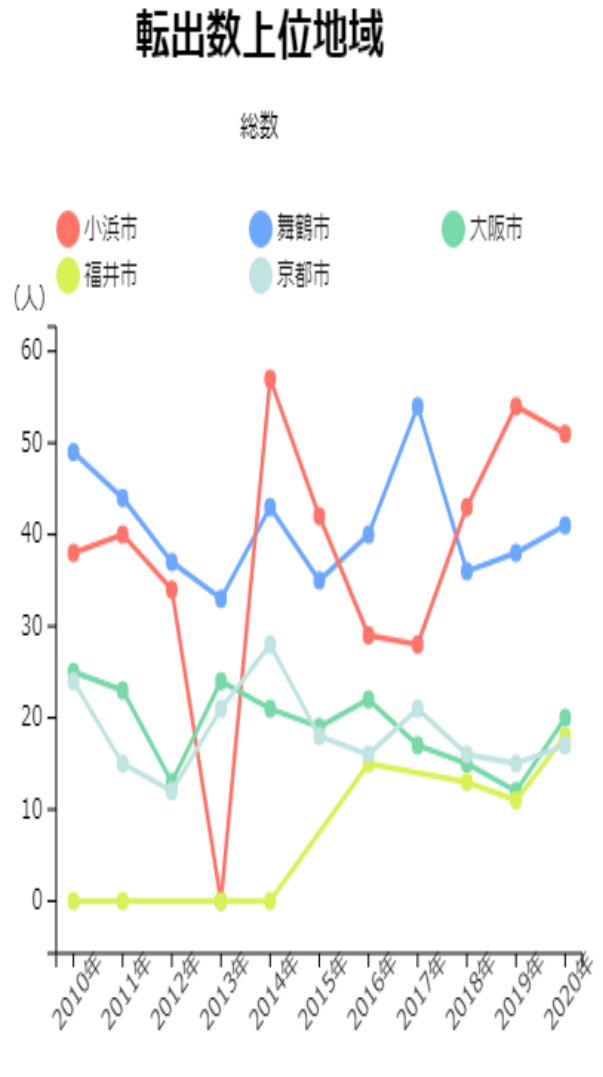
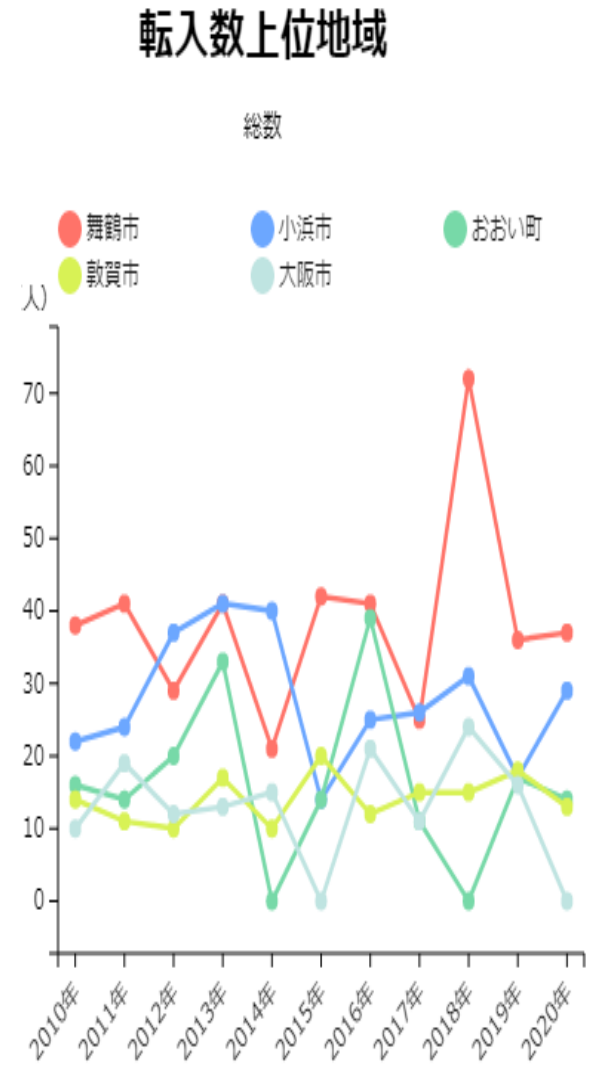
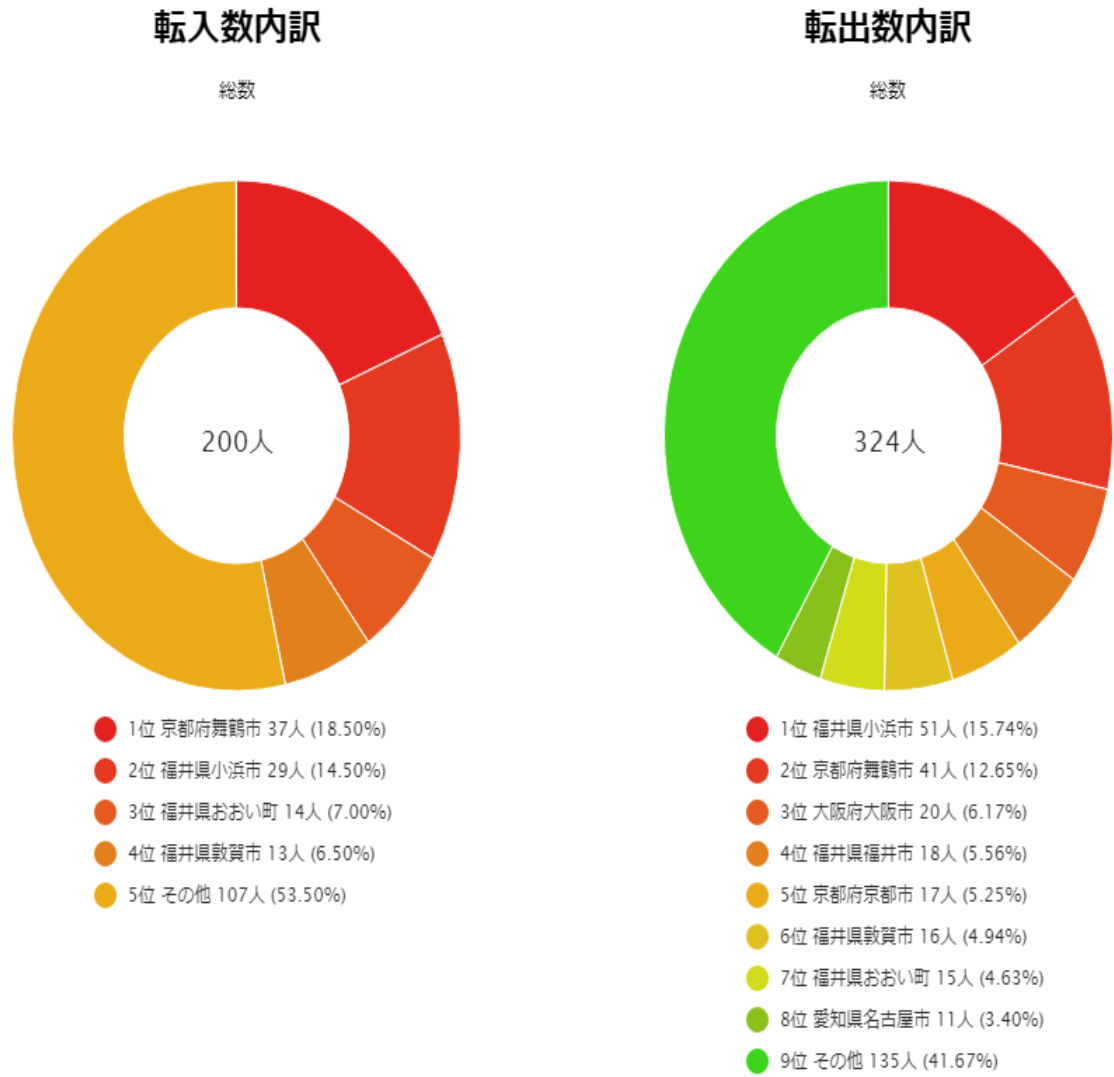
交通手段を
選択

ヒートマップ
透過率を選択



【福井県高浜町の転入者はどこから??】

福井県高浜町・2020年度



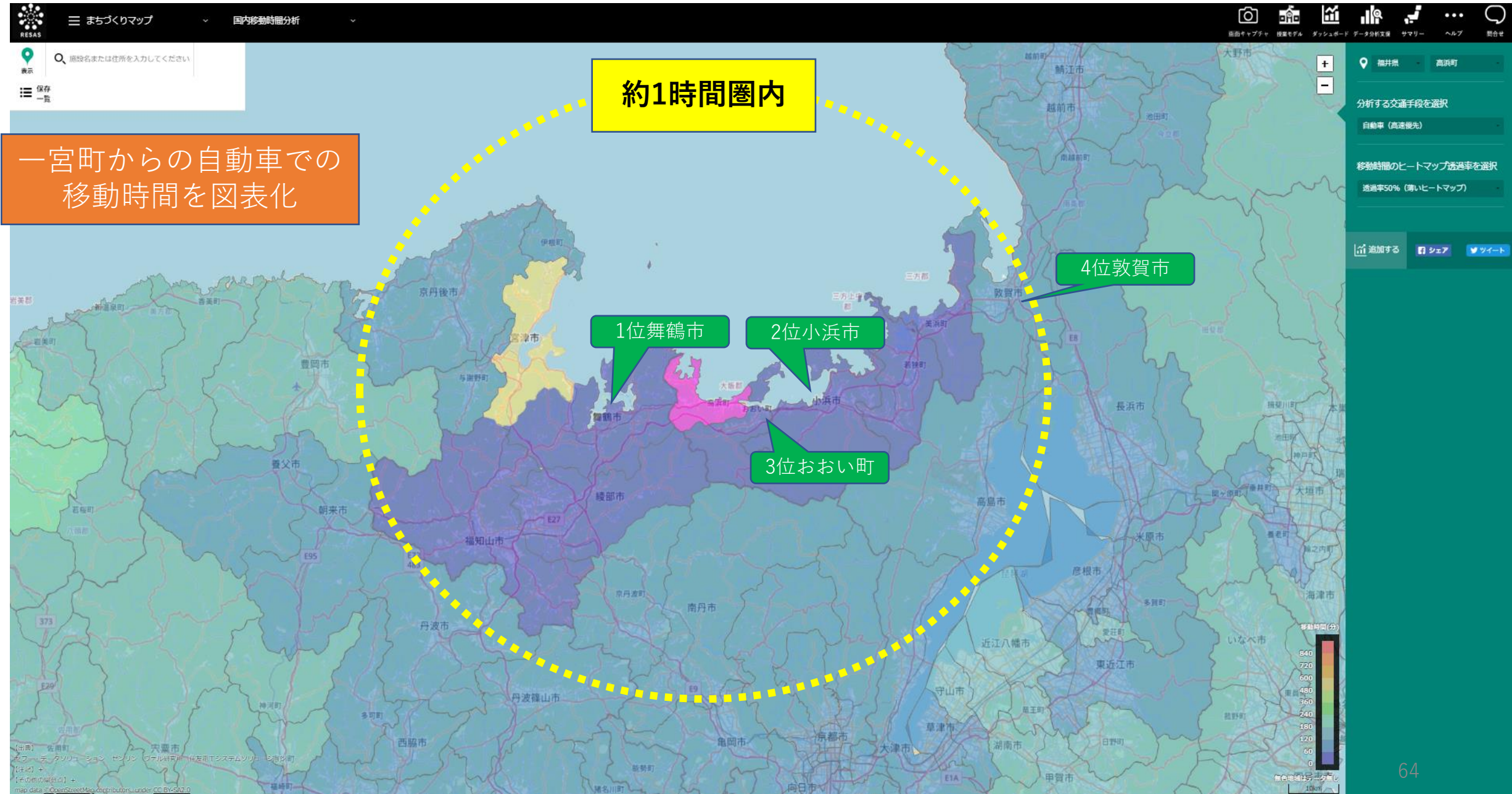
【高浜町への(関係人口の)アクセス】

まちづくり
マップ

国内移動
時間分析

交通手段
を選択

ヒートマップ
読み込み



【高浜町への(関係人口の)アクセス】

まちづくり
マップ

国内移動
時間分析

交通手段
を選択

ヒートマップ
読み込み



≡ まちづくりマップ

国内移動時間分析



Q 施設名または住所を入力してください

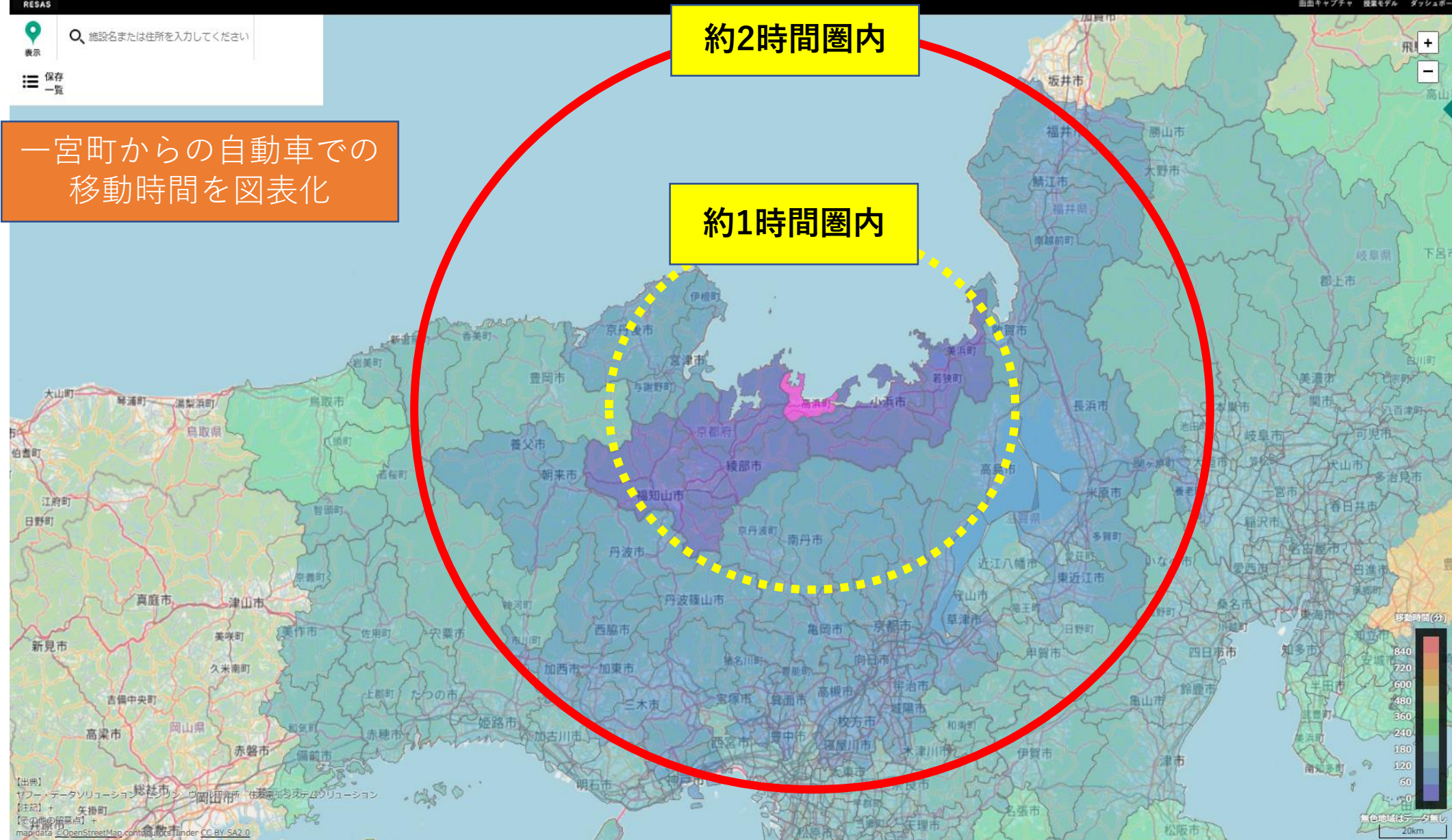
≡ 保存
一覧



一宮町からの自動車での
移動時間を図表化

約2時間圏内

約1時間圏内



📍 福井県 高浜町

分析する交通手段を選択

自動車 (高速優先)

移動時間のヒートマップ透過率を選択

透過率50% (薄いヒートマップ)

📊 追加する

📱 シェア

🐦 ツイート

移動時間(分)



無色地域はデータ無し

20km

【出典】
ヤフー・データソリューション
【注記】 + 矢掛町
【その他の留意点】 +
map data © OpenStreetMap contributors, Imagery © Mapbox, CC BY-SA 2.0

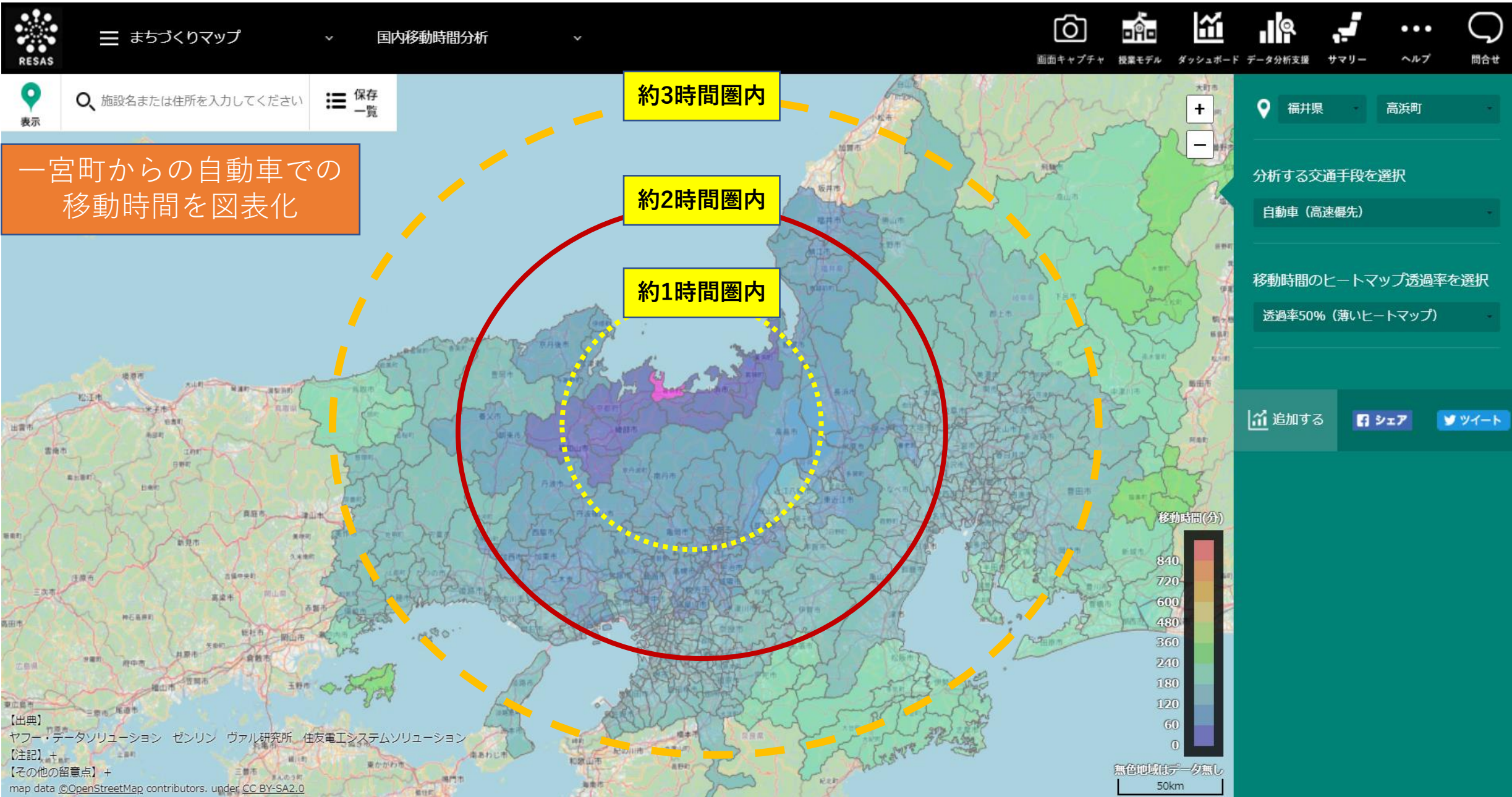
【高浜町への(関係人口の)アクセス】

まちづくり
マップ

国内移動
時間分析

交通手段
を選択

ヒートマップ
読み込み



「時間的制約」を加味すると、
常日頃から高浜町に訪れて頂ける人
(関係人口になり得る可能性の高い人)は、
移動時間が2～3時間圏内の人々と
仮定できるのかもしれませんが。

それでは移動時間が2～3時間圏内の
エリアの人口増減率はどのようなになっているのか？
データで確認してみましょう。

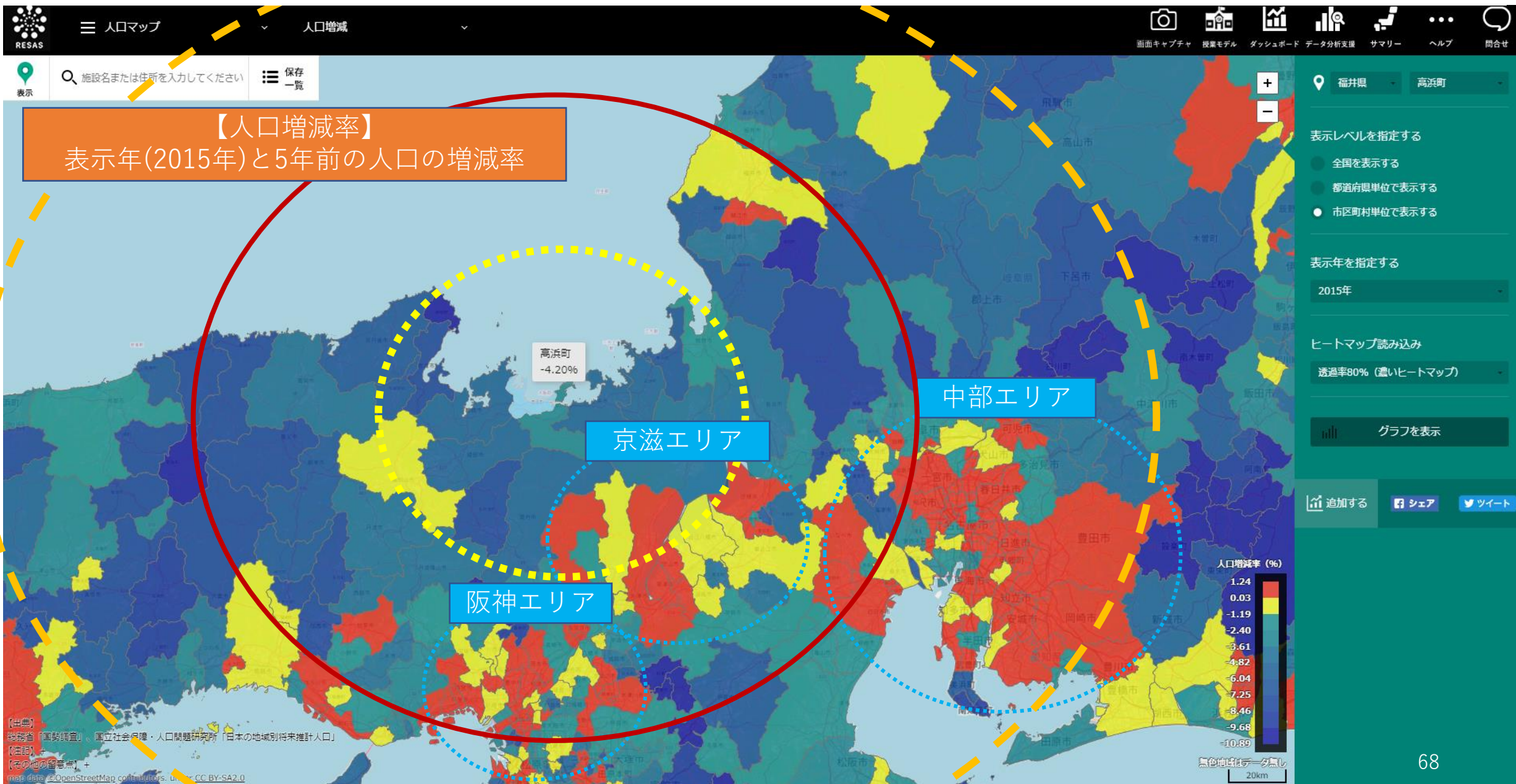
【近隣エリアの人口増減率】

人口マップ

人口増減

表示レベル
(市町村単位)

ヒートマップ
読み込み



以上、これまでのデータを踏まえると、
「高浜町」と「一宮町」との間に
様々な共通点が見えてきます。
改めて整理してみましょう

【高浜町と一宮町の共通点(一宮町を取り上げた理由)】

・世界に誇れる海

高浜町：アジア発のブルーフラッグ認証、関西有数のサーフスポット
一宮町：東京五輪サーフィン競技会場

・来訪者を飽きさせない観光資源

高浜町：UMIKARA、グランピング、海と山、豊かな食
一宮町：サーフストリート

・近隣に大都市圏が存在する

高浜町：2時間圏内に人口増加都市圏が複数存在（阪神・京滋・中部）
一宮町：東京都心部通勤圏（1.5時間程度）

以上内容を踏まえると、
高浜町の関係人口を増加させるポイントは
阪神・京滋・中部エリアを中心に
高浜町の魅力を伝えるPR活動・広報活動こそが
大きな鍵となるのかもしれません。

大変簡単な内容ではありますが、
今回のEBPM検証をフロー図で振り返ってみましょう。

【EBPM検証・フロー図での振り返り】

- ①高浜町の現状をデータで把握 (RESAS) ⇒ 問題点の把握、創生総合戦略の内容確認
- ②高浜町の類似自治体を把握 (RESAS) ⇒ 比較対象先の選定 (一宮町)
- 【③高浜町と一宮町の共通点比較 ⇒ 参考になるのか？検証】
- ④高浜町と一宮町の比較 (RESAS) ⇒ 社会増減数に大きな違いがある
- ⑤一宮町の世界増減数の増加要因確認 ⇒ 一宮町のアンケート調査 (サーフィン!?)
- ⑥どうやって関係、定住人口を増やした？ ⇒ 創生総合戦略の取組(サーフィンと生きる町)
- ⑦地域を訪問する人の気持ち ⇒ 国土交通省アンケートの意見確認
- ⑧アンケート結果の検証 ⇒ 時間的問題 (移動時間) は影響が大きそう？
- ⑨一宮町の転入者はどこから来てる？ (RESAS) ⇒ 2時間圏内のエリアから転入した人が多い
- ⑩高浜町の転入者はどこから来てる？ (RESAS) ⇒ 2時間圏内のエリアから転入した人が多い
- ⑪検証結果の確認
- ⇒ 関係、定住人口となる人は近隣エリアに住んでる人の可能性が高そう
- ⑫高浜町の3時間圏内のエリアの人口移動率はどう？ (RESAS)
- ⇒ 近隣エリア (阪神・京滋・中部) は人口増加基調

検証結果：上記エリア向けの積極的PRが関係人口を増やすきっかけになるのではないか！

R E S A S とは

4. まとめ

～最後に～

具体的方策を検討する際の
アプローチ方法

【意思決定プロセスのフロー】

問題定義(仮説)



現状把握・評価



課題・要因特定



方策検討

◆左記は『**意思決定プロセスフロー**』と呼ばれるもので、自治体、民間企業などの組織を問わず、意思決定を行うための重要なプロセスと定義されています。

※他にも色々なアプローチがありますので、ご興味あれば是非お調べください

◆フローに沿って、検討を進めていくと最終的な「方策検討」にたどり着きやすいと言われています。

ただし・・・

◆いきなり「仮説」をたてろと言われても難しくありませんか？

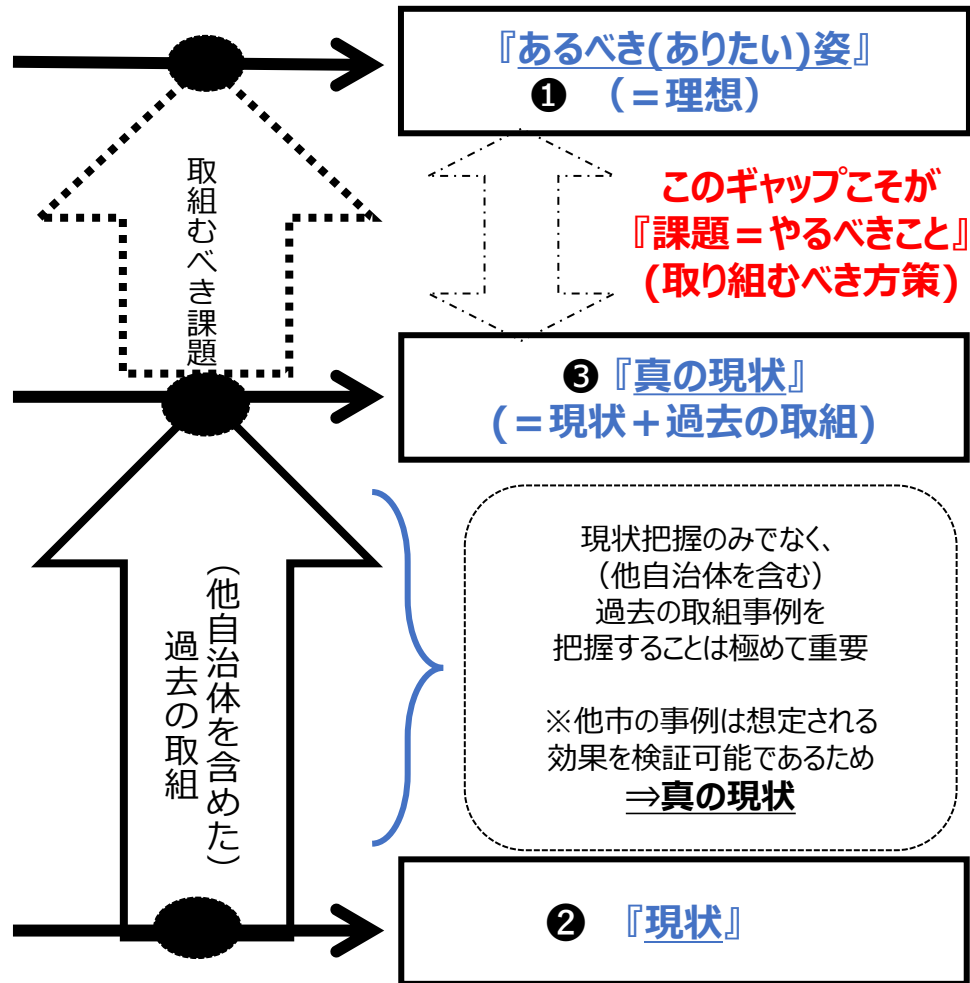
◆普段の業務において、「問題定義（仮説）」からではなく、「現状把握・評価」から「方策検討」に入ってしまうことはありませんか？

(※退庁時間が遅い→来週から毎週水曜は定時退庁)
退庁時間が遅くなる課題や要因の特定は??)

◆具体的に何から手をつけるべきか悩ましくありませんか？

ご参考までに我々が普段利用しているアプローチ方法のひとつをご紹介します

【問題定義(仮説)における考え方の例】



【問題定義(仮説)を行う際のアプローチ方法】

《アプローチの順序》

① あるべき姿(ありたい姿・理想)の明確化

⇒理想はより具体的であるほど議論が進めやすいです
(理想が曖昧な場合、目指すべき姿や取り組むべき課題も曖昧になってしまいます)

⇒理想が定まっていないと矢印の方向が大きくぶれます

② 現状を把握

⇒RESAS等のデータを活用した分析

③ 真の現状を把握

(真の現状=現状+過去の取組)

⇒過去の取組事例の把握は重要
(成功事例、失敗事例を含めて、把握する)

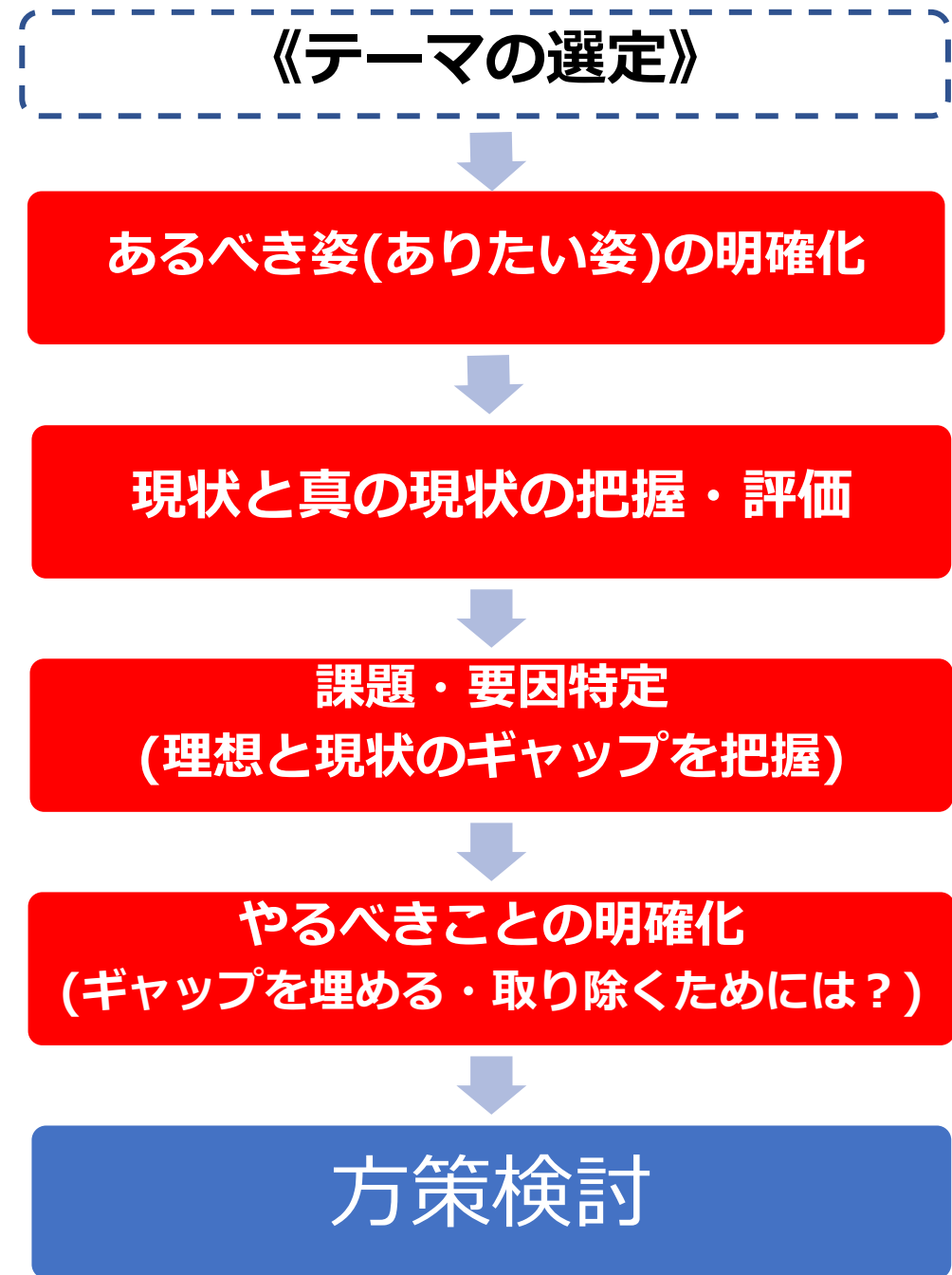
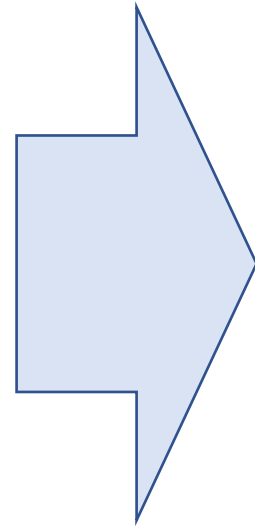
取組事例の把握により、現状に行き着いた経緯を理解、
把握しなければ同じ事を繰り返してしまう

①-③

「あるべき姿(理想)-真の現状」=課題・要因特定

⇒取り組むべき方策(やるべきこと)の明確化

【意思決定プロセスのフロー】



《意思(政策)決定における 2つの重要な視点》

本日はRESASを使ったデータ分析のご紹介をさせて頂きましたが、
データ分析だけでは有効な施策は検討できません。

大事なことは下記 2つの視点です。

【鳥の目】

RESASを含めた各種データの分析

【虫の目】

フィールドワーク

(住民意見・アンケート、各自治体特有の事象の調査)

地方創生 政策アイデアコンテストに 是非ご参加ください！

- ◆高校生/中学生の部
- ◆大学生以上・一般の部
- ◆地方公共団体の部



地方に
光
さす！

あなたが大切に思う地域について、
地域経済分析システム（RESAS）等を使って現状や課題を見つけ、
地域の未来をよりよくする政策アイデアをご提案ください！

地方創生★
政策アイデア
コンテスト
2021

アイデア求む！
RESAS
V-RESAS

募集期間
2021 7.2 ▶ 10.8.

まずは検索!!

募集区分	最終審査会
高校生・中学生以下の部 / 大学生以上一般の部 / 地方公共団体の部	日時：2021年12月11日（土） 会場：中央合同庁舎第8号館 講堂（内閣府） ※状況に応じて変更される場合がございます。
政策アイデアの例 ・地域経済を〇〇で元気にする ・地域の課題を〇〇で解決する ・アプリを活用して、地域の魅力を伝える ・新型コロナウイルス感染症により受けたダメージを〇〇で回復する ・地域の人口減少・少子高齢化を〇〇で解決する	※応募の詳細、受付はこちらから 地方創生 アイデアコンテスト 検索 https://contest.resas-portal.go.jp/2021/
表彰 各部門それぞれで地方創生担当大臣賞、優秀賞等を授与	主催：内閣府地方創生推進室 共催：経済産業省

お問い合わせ先 | 地方創生★政策アイデアコンテスト2021 事務局 受託事業者/株式会社オーエムシー
電話番号 / 03-5362-0236（直通） 10:00-18:00（土日祝を除く） メールアドレス / resas2021-info@omc.co.jp



ご清聴ありがとうございました！